Pioneer sound.vision.soul

はじめに
準備する
テレビを見る
映像を調整する
音声を調整する
他の機器を接続して使う
その他

高精細プラズマテレビ

PDP-434TX

SRS WOW

取扱説明書

インターネットによる登録のお願い

http://www3.pioneer.co.jp/

お買い上げの製品について、上記URL「お客様のページ」でお客様登録をお願いします。この「お客様のページ」は、お客様とのコミュニケーションを目的としたウェブサイトです。新規登録されたお客様にはID・パスワードを発行させていただき、新製品のカタログや取扱説明書のダウンロード、メールマガジンの購読など各種サービスをご利用いただけます。

「据付工事」について

本機は十分な技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。

なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

このたびは、パイオニア製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- なお、「取扱説明書」は、「保証書」、「修理窓口・ご相談窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

目　次

はじめに

準備する

準備する

テレビを見る

映像を調整する

音声を調整する

他の機器を接続して使う

その他

はじめに

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置	万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。	プラグを抜く
	万一内部に水や異物等が入った場合は、すぐに本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	
	画面が映らない、音が出ないなどの故障状態のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。	
	万一、本機を落としたり転倒させることにより、キャビネットあるいはパネルを破損した場合は、すぐに本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	
設置	本機は設置用のスタンドを付属していません。設置の際は、別売の弊社製高精細プラズマテレビ専用のテーブルトップスタンドや壁掛け金具等をご使用ください。本機は大型で重量があるので、ぐらついた台や傾いたところなどを避け、安定した場所に置いてください。本機には、転倒防止の処置を行ってください。転倒防止を行わないと、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。また、開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。	注意
	電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重いものを載せてしまうことがあります。重いものを載せるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。	禁止

安全上のご注意（つづき）

区分	内容	表示
使用環境	本機の内部に水が入ったり、濡らさないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。	禁止
	表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。	100V以外禁止
使用方法	本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。	禁止
	本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、落下して中に入った場合、火災・感電の原因となります。	禁止
	本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。	禁止
	雷が鳴り出したらすぐに使用を中止して、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。	接触禁止
	本機のキャビネットをはずしたり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。	分解禁止
	電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	ほこり除去
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。	禁止
	本機の前面パネルに、たたくなどの衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。前面パネルには絶対に衝撃を加えないでください。	

⚠ 注意

区分	内容	表示
設置	濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。	禁止
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。	禁止
	本機の上にものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。	

安全上のご注意（つづき）

設置	放熱を良くするため、他の機器・壁等から10cm 以上の間隔をとり設置してください。また、次のような使いかたをしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 ●押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。 ●じゅうたんやふとんの上に置く。 ●テーブルクロスなどをかける。 ●横倒しにする。 ●逆さまにする。	禁止
	アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。 アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。	注意
	電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	禁止
	本機を直射日光が当たる場所に長期間置かないでください。前面パネルの光学特性が変化し、変色したり、そりの原因となります。	
	移動させる場合は本機の電源ボタンを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部コード、転倒防止具をはずしたことを確認してください。コード類をはずさずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	プラグを抜く
	本機を調理台や加湿器、エアコンの吹き出し口のそばなど高温、多湿になる場所あるいは油煙やホコリの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	禁止
	本機は質量が33.0kgあり、奥行がなくて不安定なため、開梱や持ち運び、および設置は２人以上で行ってください。	注意
	お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。	プラグを抜く
	本機はガラス部品を使用しています。万一部品が割れた場合には、破片でけがなどをしないよう取り扱いに注意し、販売店に修理をご依頼ください。	注意
	窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。	禁止
	3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にホコリがたまったままま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。	注意
	本機背面にある通気孔は、月に１回を目安に掃除機でホコリを吸い取ってください（このとき掃除機は「弱」に設定してください）。また、通気孔のお手入れは必ず本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ホコリをためたまま使用すると内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。	

安全上のご注意（つづき）

設置	地震などによる転倒を防止するため、丈夫なヒモとフック金具を使用して、壁や柱など強度の高いところに固定してください。	注意
	電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。	確実に差す
	電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。	禁止
	オーディオ機器やビデオ機器など、他の機器と組み合わせて使用する場合は、本機の電源ボタンを切った後、電源プラグをコンセントから抜いて接続してください。	プラグを抜く
使用環境	本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。	注意
	周囲温度は０～40℃の範囲内でご使用ください。	
	長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	プラグを抜く
使用方法	長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。	禁止
	静止画像などの同じ絵がらや、４：３等の映像を長時間連続で表示しないでください。画像が焼きつき、残像として残る場合があります。	
	本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。	禁止
	指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。	
	電池をリモコン内にセットする場合、極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。	注意
	乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。	禁止
	電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。	
	長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。	電池を取り出す
	ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。	注意

使用上のご注意（守っていただきたいこと）

⚠注意　お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

プラズマテレビの保護機能について

• 写真やコンピューター画像などの動きのない映像を長い時間表示すると、画面がやや暗くなります。これはプラズマテレビの保護機能が、動きの少ない映像を検知すると自動的に明るさを調整して画面を保護するためで、故障ではありません。
この機能は、動きの少ない映像を約3分間検知すると働きます。

プラズマテレビの画素欠陥について

• プラズマテレビは、微細な画素の集合体で、非常に精密な技術で作られていますが、ごく一部の画素が光らなかったり、常時点灯する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。

画面の焼き付きと残像

• 静止画像など同じ絵柄の映像を長い時間表示すると、画面に残像が残る場合があります。
残像にはつぎの2つの原因があります。

1. 電気負荷の残留による残像
輝度の非常に高い映像を1分以上表示すると、電気負荷の残留により残像がでることがあります。これは動画を表示するとやがて消えます。残像が消えるまでにかかる時間は、もとの映像の輝度と表示時間によって異なります。

2. 焼き付きによる残像
プラズマテレビに同じ絵柄を長時間表示しないでください。同じ絵柄を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返し表示したりすると、蛍光素材の焼き付きにより残像ができることがあります。この場合は、動画の映像によって目立たなくなることがありますが、完全に消えることはありません。
また、画面サイズ4：3や上下に黒帯が表示されるレターボックス等の映像を何時間も続けて表示したり短時間でも毎日くり返し表示すると同様の焼き付きによる残像が残ります。
著作者の権利を侵害するおそれがある場合(➡48ページ・ご注意)を除き、画面の焼き付きを避けるため、映像を画面いっぱいに映す画面サイズに切り換えて(➡47ページ)お楽しみいただくことをおすすめします。また、「省エネ機能を使う」の「消費電力」設定により、焼き付きの発生を軽減することができます。(➡46ページ)

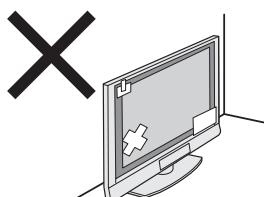
赤外線について

プラズマテレビは原理上赤外線を出しています。使用状態によっては周囲の機器のリモコンが効きにくくなったり赤外線を使用しているワイヤレスヘッドホンにノイズが入る場合があります。その場合は影響を受けないような場所に機器の受光部を設置してください。

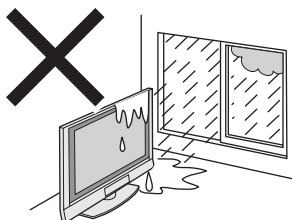
電磁波妨害について

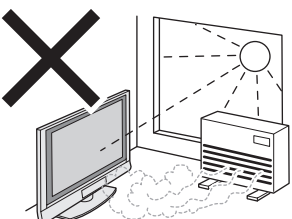
本機は公的規格を満足していますが若干のノイズが出ています。「AMラジオ」や「パソコン」、「ビデオ」等の機器を近づけると妨害を与えることがあります。このときは機器を影響のない所まで本機から離してください。

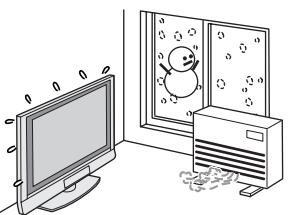
ステッカーやテープなどを貼らないでください

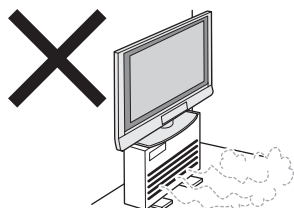
●キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

使用上のご注意（守っていただきたいこと）（つづき）

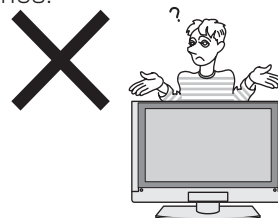
雨天・降雪中でのご使用の場合

●雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機を濡らさないようにご注意ください。

直射日光・熱気は避けてください

●窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
●直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。
キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

結露（つゆつき）について

●本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

設置について

●発熱する機器の上には本機を置かないでください。
●本機の上にはものを置かないでください。
●本機の上や後ろのスペースが十分とれる場所に設置してください。

国外では使用できません

●この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

ガラスパネル部のお手入れのしかた

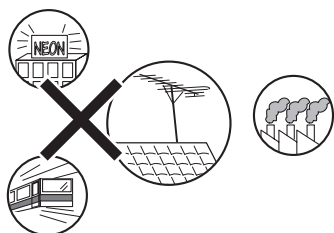
●本機のガラスパネル部の表面は、付属のワイピングクロスまたは他の柔らかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
●ガラスパネル部の表面を濡れた布で拭くと、水滴などが本体の表面を伝って、内部に侵入し故障の原因になることがあります。

キャビネットのお手入れのしかた

●キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはがれることがありますので避けてください。
●殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
●キャビネットの表面を濡れた布で拭くと、水滴などが本体の表面を伝って、内部に侵入し故障の原因になることがあります。

使用上のご注意（守っていただきたいこと）（つづき）

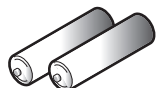
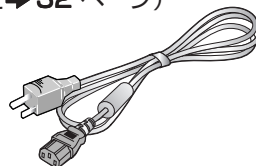
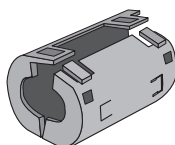
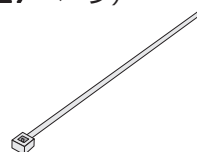
アンテナについて

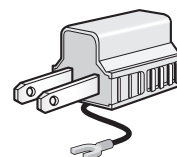
●妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
●アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
●アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

電磁波妨害に注意してください

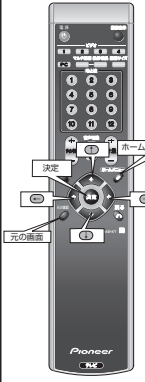
●本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

付属品

■リモコン× 1
（使いかた➡18 ページ）

■単３乾電池× 2
（使いかた➡ 20 ページ）

■電源コード（ノイズフィルター付き）
（2.0m、3 ピン）× 1
（使いかた➡32 ページ）

■アンテナケーブル用ノイズフィルター× 1
（使いかた➡27 ページ）

■ノイズフィルター固定用バインダー× 1
（使いかた➡27 ページ）

■ワイピングクロス
（ガラスパネル部を拭く布）× 1
（使いかた➡11 ページ）

■ AC 変換プラグ× 1
（使いかた➡32 ページ）

■保証書
■取扱説明書（本書）
■基本的な使い方と故障と思われがちな事例
■安心サービス保証プログラムのご案内
■安心サービス保証プログラム申込書
■修理窓口・ご相談窓口のご案内

取扱説明書の見かた

■ プラズマテレビを快適にご使用いただくために、本機ではほとんどの操作がリモコンで行えるようになっています。
■ またこの取扱説明書でも、おもにリモコンからの操作を中心に説明しています。
■ リモコン操作に関しては、できるだけわかりやすくご理解していただくために、操作の手助けとなるかんたん操作ガイドを画面に表示しています。

●説明の見かた

お好みの音場にする

FOCUS やフロントサラウンド効果を使うと、より自然で立体的な音声を再生できます。

① ホームメニュー を押す
② 「音声の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
③ 「FOCUS」または「フロントサラウンド」を選んで ← → を押し、お好みの効果を選ぶ

音声の調整【標準】
高音 + 2
低音 0
バランス 0
初期状態に戻す
FOCUS しない
フロントサラウンド しない

■FOCUS
音が聞こえてくる方向（音像）を縦方向（上方向）に動かすとともに、音の輪郭を明確にする技術です。
「する」に設定すると、画面の中央から音が聞こえてくるような効果が得られます。
工場出荷時は、「しない」に設定されています。

「する」………… FOCUS を使用します。
「しない」………… FOCUS を使用しません。

■フロントサラウンド
工場出荷時は、「TruBass」に設定されています。

「SRS」………… どの位置でも自然な立体音場を楽しむことができます。
「TruBass」………… 無理のない豊かな低音を再生します。
「TruBass+SRS」…… TruBass と SRS の両方を使ったサラウンド効果が得られます。
「しない」………… フロントサラウンドを使用しません。

④ 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ
• 「FOCUS」を「する」、「フロントサラウンド」を「TruBass+SRS」にした状態を SRS(●) WOW（ワウ）といいます。
• SRS(●) WOW は、SRS Labs, Inc. の商標です。
• WOW 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
• 効果の度合いは信号によって異なります。
• ヘッドホンの音場設定はできません。
• ヘッドホンを挿入したまま音場を設定すると、ヘッドホンを抜いたときのスピーカーからの音場が設定されます。

音声を調整する
お好みの音場にする
69

●この取扱説明書内の説明では、次のように表示しています。

リモコンのホームメニューボタンを押す ➡ ホームメニュー を押す
画面上の映像の調整を選ぶ ➡ 「映像の調整」を選ぶ

ご注意 正しくお使いいただくためのご注意

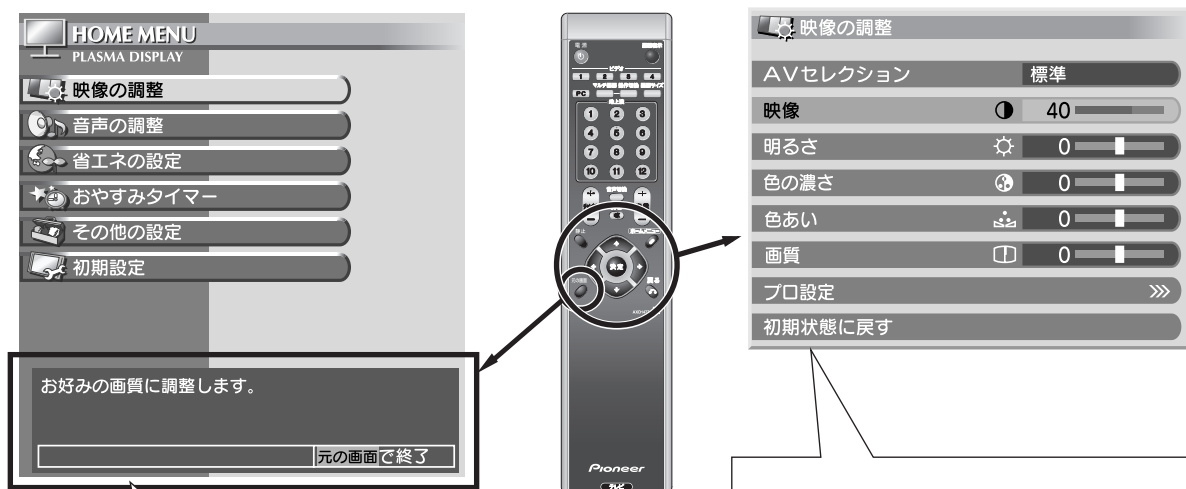
おしらせ もう少し詳しい説明や、機能の制限事項などの情報

お願い アドバイスや、してはいけないこと、していただきたいことなどの情報

※ この取扱説明書では、高精細プラズマテレビを「本機」と表現しています。
※ この取扱説明書に記載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なる場合があります。

取扱説明書の見かた（つづき）

●メニューの使いかた

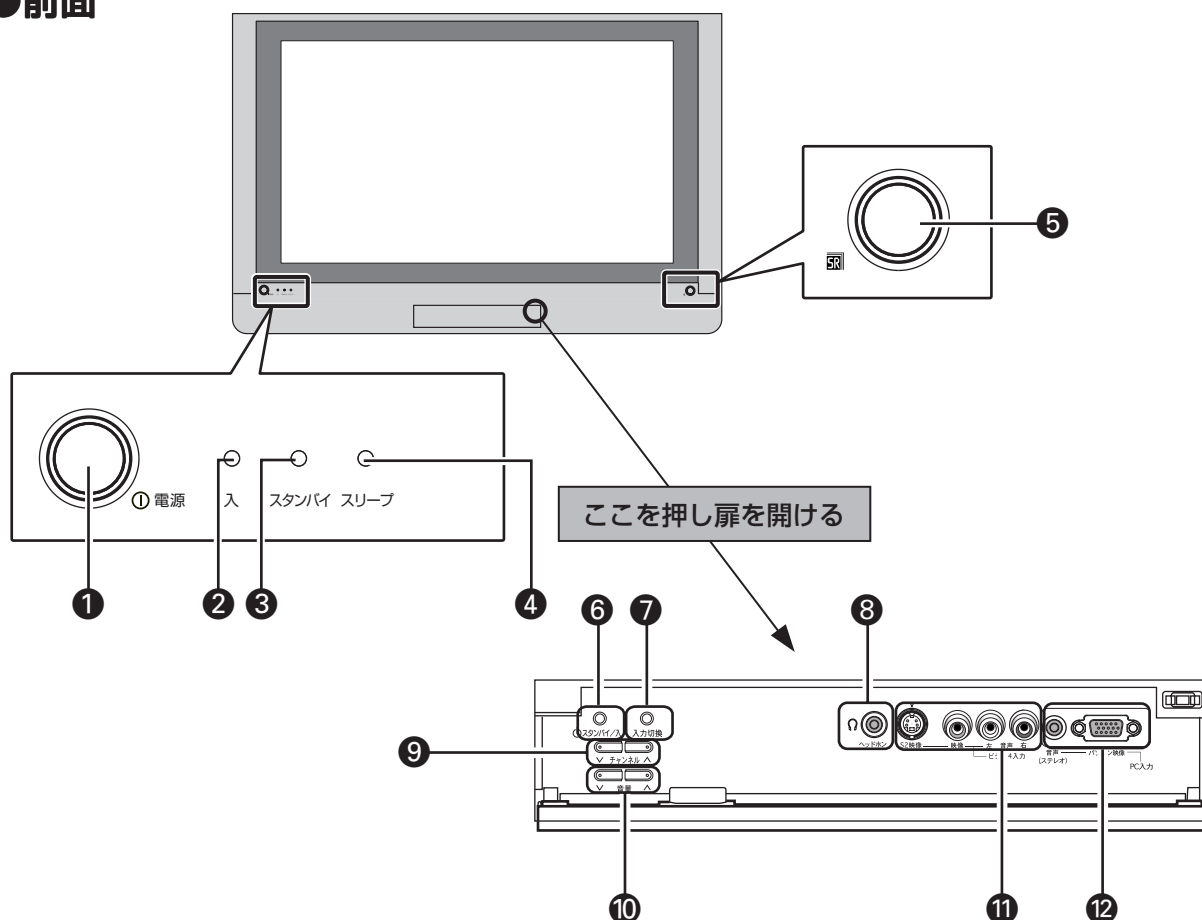
本機では画面に表示されるかんたん操作ガイドにしたがって操作を順次進めます。
かんたん操作ガイドに表示される内容は、いろいろな機能の詳細説明や操作の方法をわかりやすく説明しています。

（例）かんたん操作ガイド
選択されている項目に関する説明を表示します。
また、元の画面のボタンを押すとメニュー画面を終了することを表しています。

（例）
映像の調整の画面では、リモコンの各ボタンは下記の動作をします。

- ↑ ↓ ボタン
  項目が選択できます。
- 決定ボタン
  選んだ項目を決定する事を表しています。
- 戻るボタン
  一つ前の状態に戻ります。
- 元の画面ボタン
  映像の調整画面を終了し、最後に視聴していた画面に戻ります。

おしらせ
- 各説明の最後に「設定を終了する場合は、元の画面を押す」と表記していますが、ホームメニューを押しても設定を終了することができます。

各部の名前

●前面

❶ **電源ボタン（➡42 ページ）**
本機の主電源ボタンです。
電源を「入（またはスタンバイ）」「切」します。

❷ **入インジケーター（緑）（➡42 ページ）**
本機が電源「入」のとき、緑色で点灯します。

❸ **スタンバイインジケーター(赤)(➡42ページ)**
本機が電源「スタンバイ」のとき、赤色で点灯します。

❹ **スリープインジケーター（橙）（➡45 ページ）**
おやすみタイマーが設定されているとき、橙色で点灯します。

❺ **リモコン受光部（➡19・42 ページ）**
リモコン信号をここで受信します。
ここに向けてリモコンを操作してください。

❻ **⏻ スタンバイ／入ボタン（➡42 ページ）**
本機の電源ボタンです。

❼ **入力切換ボタン（➡44 ページ）**
入力を切り換えます。

❽ **ヘッドホン出力端子**
ヘッドホン（16～32 Ω推奨）を接続します。
ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音声が出なくなります。

❾ **チャンネル（＋ / －）ボタン（➡42 ページ）**
テレビのチャンネルを切り換えます。

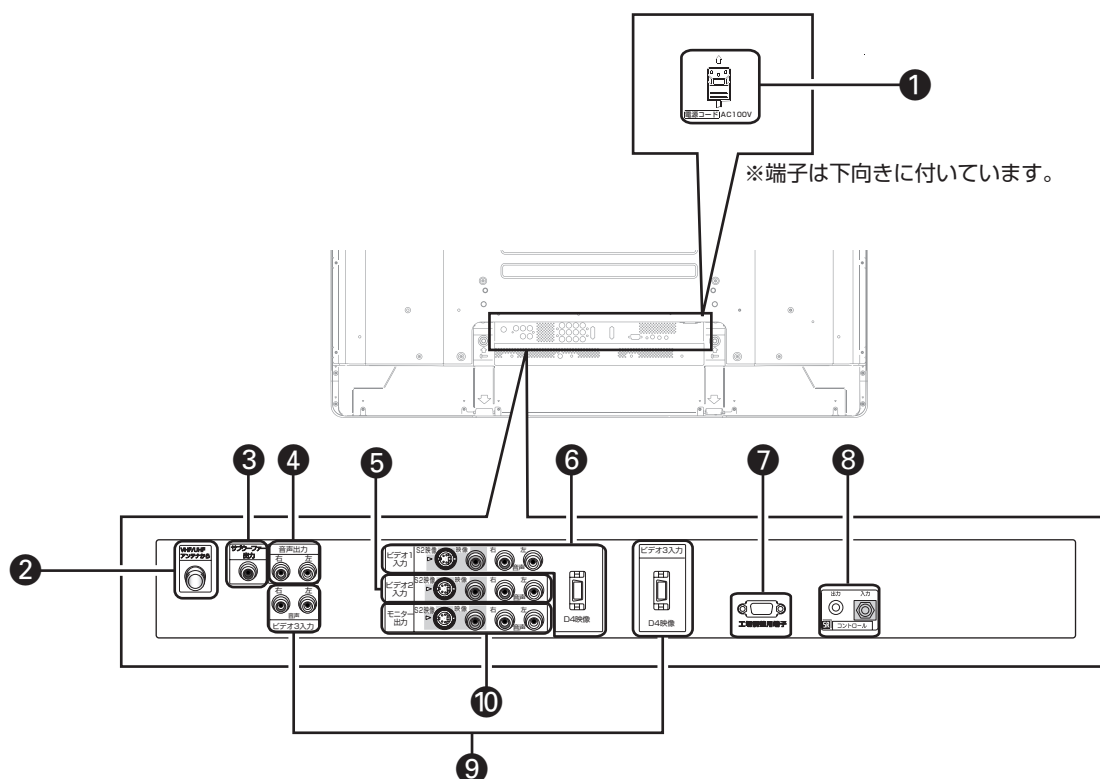
❿ **音量（＋ / －）ボタン（➡42 ページ）**
お好みの音量に調整します。

⓫ **ビデオ 4 入力端子（S2 映像・映像・音声）（➡72 ページ）**
前面に配置されているビデオ入力端子です。ビデオカメラなどの映像出力と音声出力に接続します。

⓬ **PC 入力端子（➡74 ページ）**
パソコンの映像出力と音声出力に接続します。

ご注意
• ヘッドホンをご使用になる場合は、耳をあまり刺激しないような適度な音量でお楽しみください。

各部の名前（つづき）

●背面

❶ **電源コード接続端子（➡32 ページ）**
電源コードと接続します。

❷ **VHF/UHF アンテナ（➡26 ページ）**
入力端子(アンテナから)とアンテナ線を接続します。

❸ **サブウーファー出力端子（➡31 ページ）**
サブウーファー専用の音声出力です。

❹ **音声出力端子（➡31 ページ）**
AV アンプなどの音声入力端子と接続します。

❺ **ビデオ 2 入力端子（S2 映像・映像・音声）（➡28 ページ）**
ビデオデッキなどの出力端子と接続します。

❻ **ビデオ1入力端子（D4映像・ S2映像・映像・音声）（➡28 ページ）**
DVD レコーダーなどの出力端子と接続します。またD端子出力のある機器は、D端子ケーブルで接続できます。

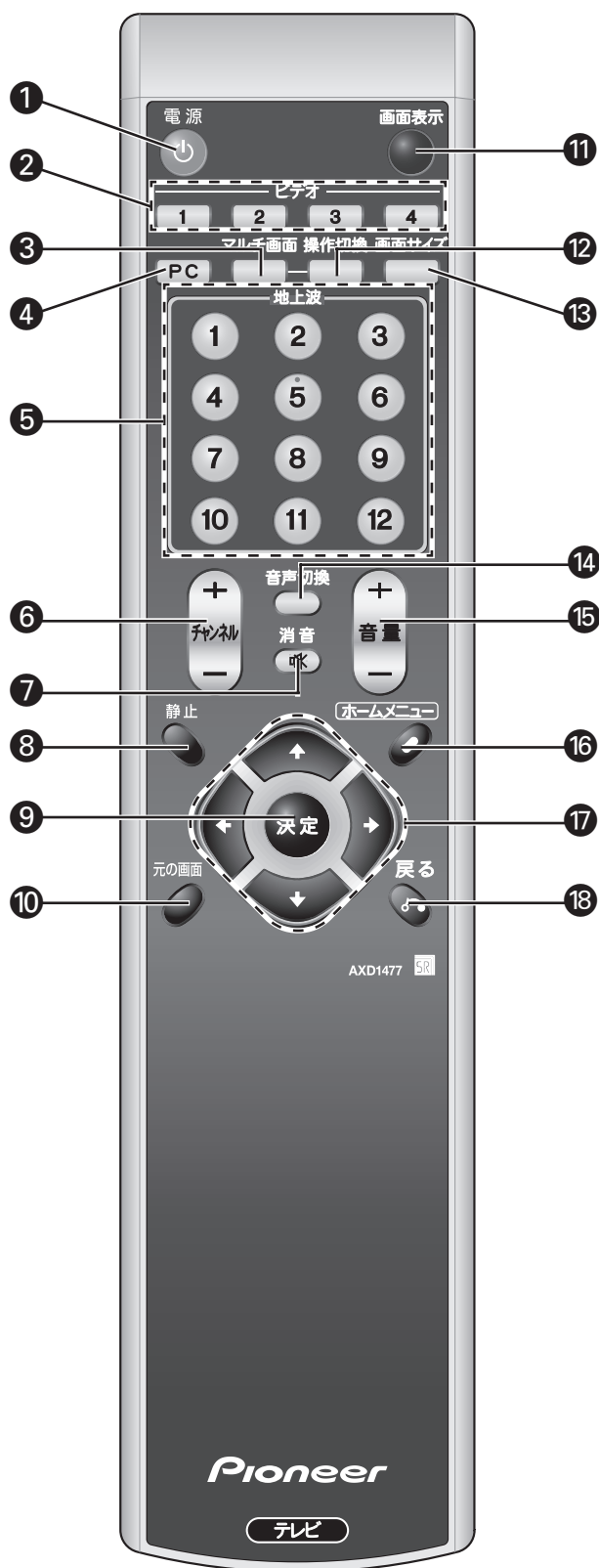
❼ **工場調整用端子**
この端子には何も接続しないでください。

❽ **コントロール（入力／出力）端子（➡73ページ）**
SRマークの付いたパイオニア製 AV アンプなどを接続します。

❾ **ビデオ 3 入力端子（D4 映像・音声）（➡28・30 ページ）**
DVD プレーヤーなどの出力端子と接続します。

❿ **モニター出力端子（S2 映像・映像・音声）（➡28 ページ）**
AV アンプやビデオなどの入力端子に接続します。

各部の名前（つづき）

●リモコン

❶ **電源（➡42 ページ）**
電源を入／スタンバイ（待機状態）します。

❷ **ビデオ 1 ～ 4（➡44 ページ）**
外部入力に切り換えます。

❸ **マルチ画面（➡52 ページ）**
2画面表示やPinPなどのマルチ画面表示にします。

❹ **PC（➡44・74 ページ）**
パソコン入力に切り換えます。

❺ **地上波チャンネル（➡42 ページ）**
地上波放送や CATV 放送を選局します。

❻ **チャンネル（＋／－）（➡42 ページ）**
各種放送を選局します。

❼ **消音（➡42 ページ）**
音を一時的に消します。

❽ **静止（➡53 ページ）**
視聴中の映像を2画面にして、静止画と動画で表示します。

❾ **決定**
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

❿ **元の画面**
マルチ画面、静止画面やメニュー操作などを終了します。

⓫ **画面表示（➡43 ページ）**
画面表示を入／切します。

⓬ **操作切換（➡52 ページ）**
マルチ画面表示のとき、操作できる画面を切り換えます。

⓭ **画面サイズ（➡47・75 ページ）**
お好みの画面サイズを選びます。

⓮ **音声切換（➡54 ページ）**
複数の音声がある番組の場合に他の音声に切り換えることができます。また二重音声の切り換えもできます。

⓯ **音量（＋／－）（➡42 ページ）**
お好みの音量に調整します。

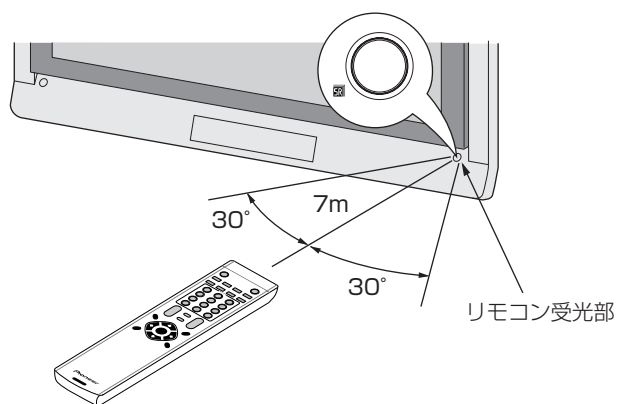
⓰ **ホームメニュー**
本機で行ういろいろな設定の基本となるメニューを表示します。このホームメニューを使用すると、ほとんどの設定を行うことができます。

⓱ **カーソル（↑／↓／←／→）**
メニューや項目を選びます。

⓲ **戻る**
１つ前の操作に戻ります。
操作を誤ったときや、やりなおしたいときは、(決定)ボタンを押さず、(戻る)ボタンを押します。

各部の名前（つづき）

リモコンで操作できる範囲

リモコンは、本機前面右下の受光部（）に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から 7m、左右に 30 度以内です。

リモコンで動作しにくいとき

- リモコンと本機の受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい電池に交換してください。
- 本機は画面から微弱な赤外線を放出しています。近くにビデオ等の赤外線リモコンを使って操作する機器を設置すると、その機器がリモコン操作を受けつけにくくなったり、受けつけなくなることがあります。そのような場合は、本機から離して設置してください。
- 設置環境によっては、プラズマテレビから放出される赤外線の影響によって、本機がリモコン操作を受けつけにくくなったり、リモコンで操作できる距離が短くなることがあります。画面から放出される赤外線の強さは、表示される絵がらによって変わります。

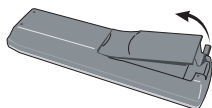
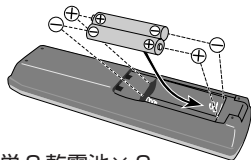
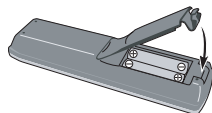
ご注意

リモコン使用上のご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高いところには置かないでください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
  照明の向きを変えてください。

各部の名前（つづき）

●リモコンの乾電池の入れ方

1. カバーを開ける

2. 付属の乾電池を入れ（⊕⊖ の表示どおりに入れてください）、カバーを閉める

単３乾電池×２

注意

乾電池使用上のご注意

乾電池は誤った使い方をすると液もれや破裂することがありますので次のことをお守りください。

- 種類の違うものや新旧を混ぜて使わない。
- 乾電池を充電したり、分解しない。
- ⊕ 極と ⊖ 極を正しく入れる。
- ショートさせない。

おしらせ

- 付属の乾電池は保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 新しい乾電池に交換してもリモコンが動作しないときは、電池を取り出し電池の向きを確かめて、入れなおしてください。
- 不要となった乾電池を処理するときは、各地方自治体の指示に従って処理してください。

準備する

お使いになるまでの手順

チェックマークにご利用ください。

リモコンに乾電池を入れる➡20ページ □

↓

アンテナ線をつなぐ➡26～27ページ

⚠ 注意

アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。 □

↓

DVDレコーダーやBS・110度CSデジタルチューナー、オーディオ等周辺機器をつなぐ➡28～31ページ

⚠ 注意

接続する周辺機器の取扱説明書をあわせてご覧になり、正しくつないでください。 □

↓

電源コードをつなぎ、電源プラグをコンセントに差し込む➡32ページ

⚠ 警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 □

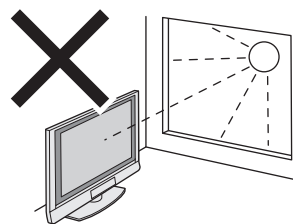
↓

かんたん設置を行い、テレビのチャンネルを設定する➡33ページ □

設置の手順

●置く場所を決める

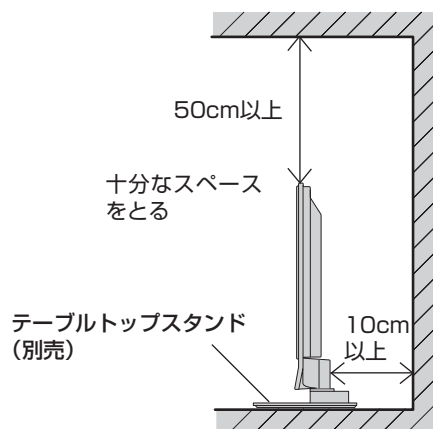
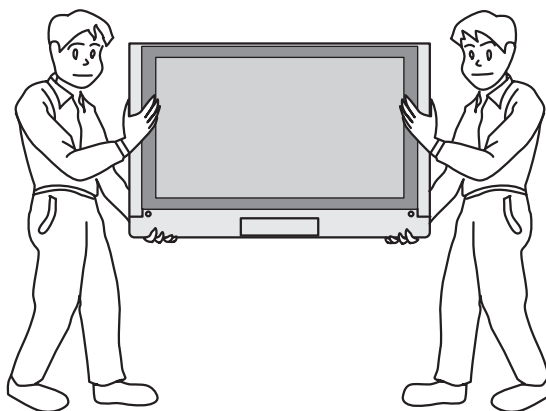
直射日光が当たらない、風通しの良い場所を選んでください。

直射日光が当たる場所、風通しの悪い場所には置かない。

●本機を設置する

ご注意

- 取り付け、取り外しは、専門業者にご依頼ください。
- 本機は設置用のスタンドを付属していません。
  設置の際は、別売のテーブルトップスタンド(PDK-TS04)や壁掛け金具等をご使用ください。
- 本機は重いので(33.0kg)、移動するときは、必ず2人以上で行ってください。

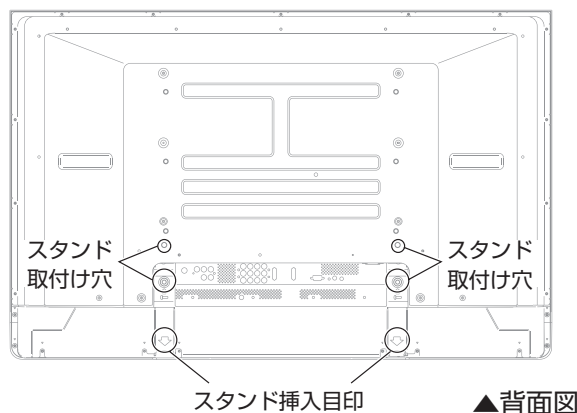
⚠ 注意

- 本機の背面部・側面部は、周囲と10cm 以上のスペースをとって設置してください。
- 本機背面の通風孔はふさがないでください。

- 本機を移動する場合は、必ず2人で作業を行い、下図のように本機の横と下部を持って移動をしてください。

設置時の注意事項

別売のスタンドなどを使用して設置する場合は下記の点に注意してください。

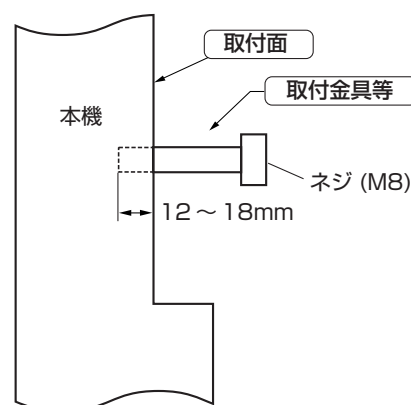
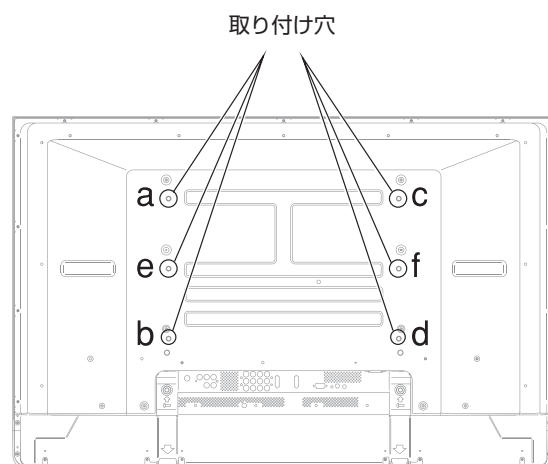
●当社別売のスタンドや金具等を使用する場合

設置は販売店等に依頼してください。
スタンドで使用する取り付け穴(4カ所)は下図のとおりです。
必ず添付のボルトを使用してください。
詳細はスタンド等の取扱説明書をお読みください。

▲背面図

●上記以外の場合

販売店にご相談ください。
使用できる取り付け穴(6カ所)は下図のとおりです。

▲背面図

▲側面図

⚠注意

- ネジの取り付けは上図abcdの4カ所、またはabcdefの6カ所を使用してください。
- ネジはM8を使用し、本機の取り付け面より本機内に12～18mm入るものを使用してください。(上図、側面図参照)
- 背面に開いている通風孔はふさがないようにしてください。
- 本機はガラスを使用しておりますので、必ず歪みのない面に取り付けてください。
- 上記の指定以外のネジ穴は指定製品専用です。指定製品以外の固定にはご使用なさらないでください。
- 必ずスタンドや金具等を使用して設置してください。

ご注意
- 当社製品以外の部品による場合の事故損傷については、当社は一切責任を負いません。

設置時の注意事項（つづき）

壁掛け設置する際の注意事項

1 設置場所について
- 人が容易にぶら下がったり、寄りかかったりできる場所への設置はできるだけしないでください。
- 屋外や温泉など湿気の多い場所、水辺の近くには設置しないでください。
- 振動や衝撃の加わるような場所には設置しないでください。
- 壁の構造や強度により取り付けできない場合がありますので、工事専門業者または販売店にご相談ください。

2 異常や不具合が発見された場合には、速やかに販売店または工事専門業者に修理を依頼してください。

3 壁掛けの設置金具や壁面の取り付け部など、目につかない所が破損し、本機が落下する危険が生じる恐れがありますので、本機を壁掛け設置する際および点検修理時や内装工事の時などに、必ず工事専門業者または販売店に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。

4 本機を壁掛け設置して長期間使用されると、環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足する恐れがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。

⚠ 注意
壁掛け設置をする際には、必ず専用の金具を使用してください。また設置・据え付けは工事専門業者に依頼してください。

壁掛け設置されたお客様へ

当社製の壁掛けユニットは、工事専門業者により安全な設置･据え付けが行われることを前提として発売されています。壁掛け設置をされているお客様は以下のことをお守りください。

1 壁掛け設置されているプラズマテレビ（本機）には、ぶら下がったり力を加えたりしないでください。

2 壁掛け設置されているプラズマテレビ（本機）や壁掛けユニットには、物をぶらさげたりしないでください。

3 地震が起きた場合には、壁掛け設置されているプラズマテレビ（本機）や壁掛けユニットの落下・転倒など万一の場合に備え、本機や壁掛けユニットから離れてください。

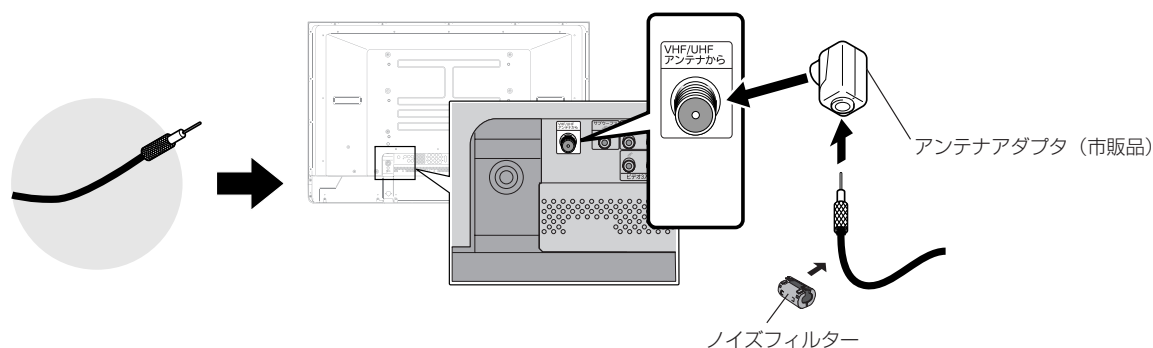
4 壁掛け設置の際には、地震などの災害や万一の場合に備え、二重の落下防止策（チェーンなどでの固定）を、工事専門業者にご依頼ください。

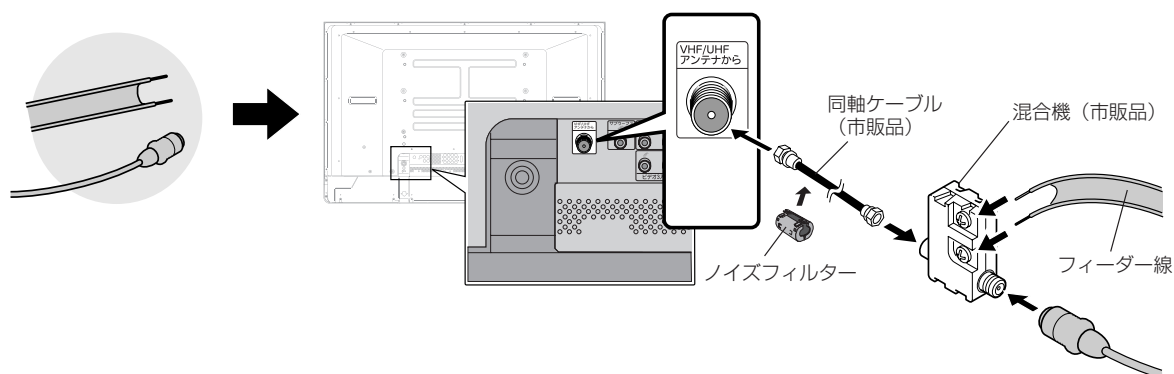
⚠ 注意
壁掛け設置をする際には、必ず専用の金具を使用してください。また設置・据え付けは工事専門業者に依頼してください。

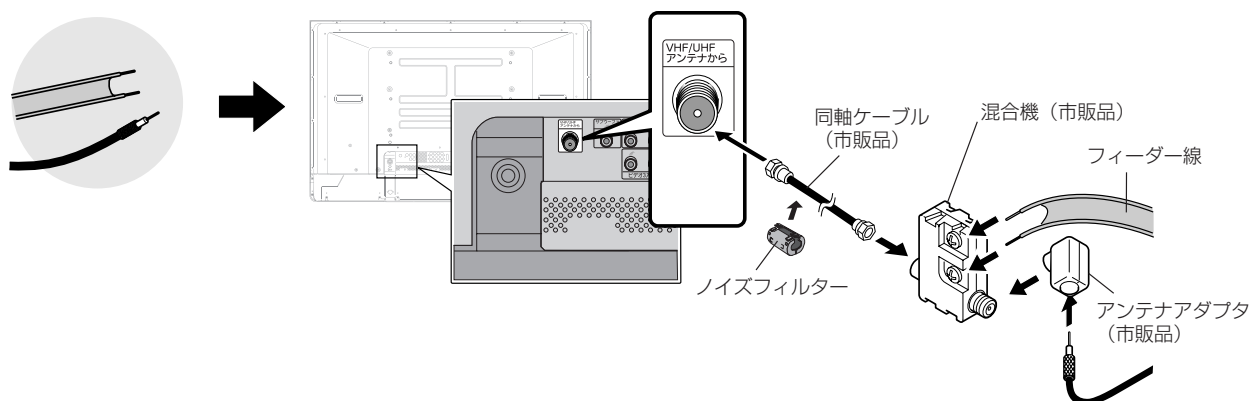
VHF/UHF（地上波）アンテナの接続

市販のアンテナケーブル、アンテナ混合器等を、使用するアンテナ線に応じて接続し、本機背面のVHF/UHFアンテナ入力端子に接続してください。

●プラグなし同軸ケーブルのとき

同軸ケーブルの先を加工してから市販のアンテナアダプタを取り付けます。

●平行フィーダー線とプラグ付きケーブルのとき

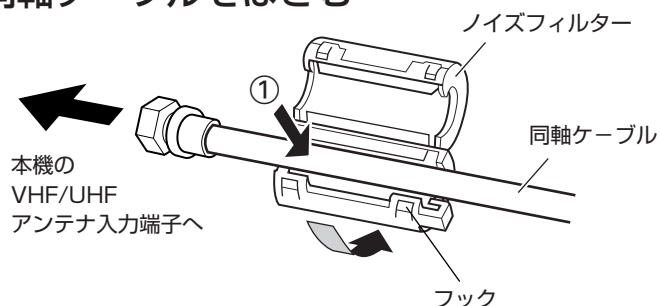
フィーダー線および同軸ケーブルを市販の混合器に接続します。

●平行フィーダー線とプラグなしケーブルのとき

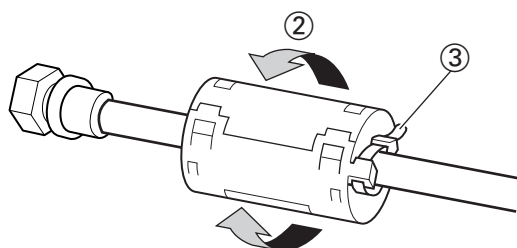
同軸ケーブルの先を加工して市販のアンテナアダプタを取り付け、フィーダー線とともに市販の混合器に接続します。

ご注意
• フィーダー線はなるべく使用せず、使用する場合は本機からできるだけ離してください。

おしらせ
• VHF/UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取り付けが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

VHF/UHF（地上波）アンテナの接続(つづき)

●ノイズフィルターの取り付けかた

① 同軸ケーブルをはさむ

② フックがきちんとロックするまで閉じる

③ ノイズフィルター固定用バインダーでノイズフィルターを固定する

お願い
・ノイズフィルターはなるべく本体の近くに取り付けてください。

⚠注意

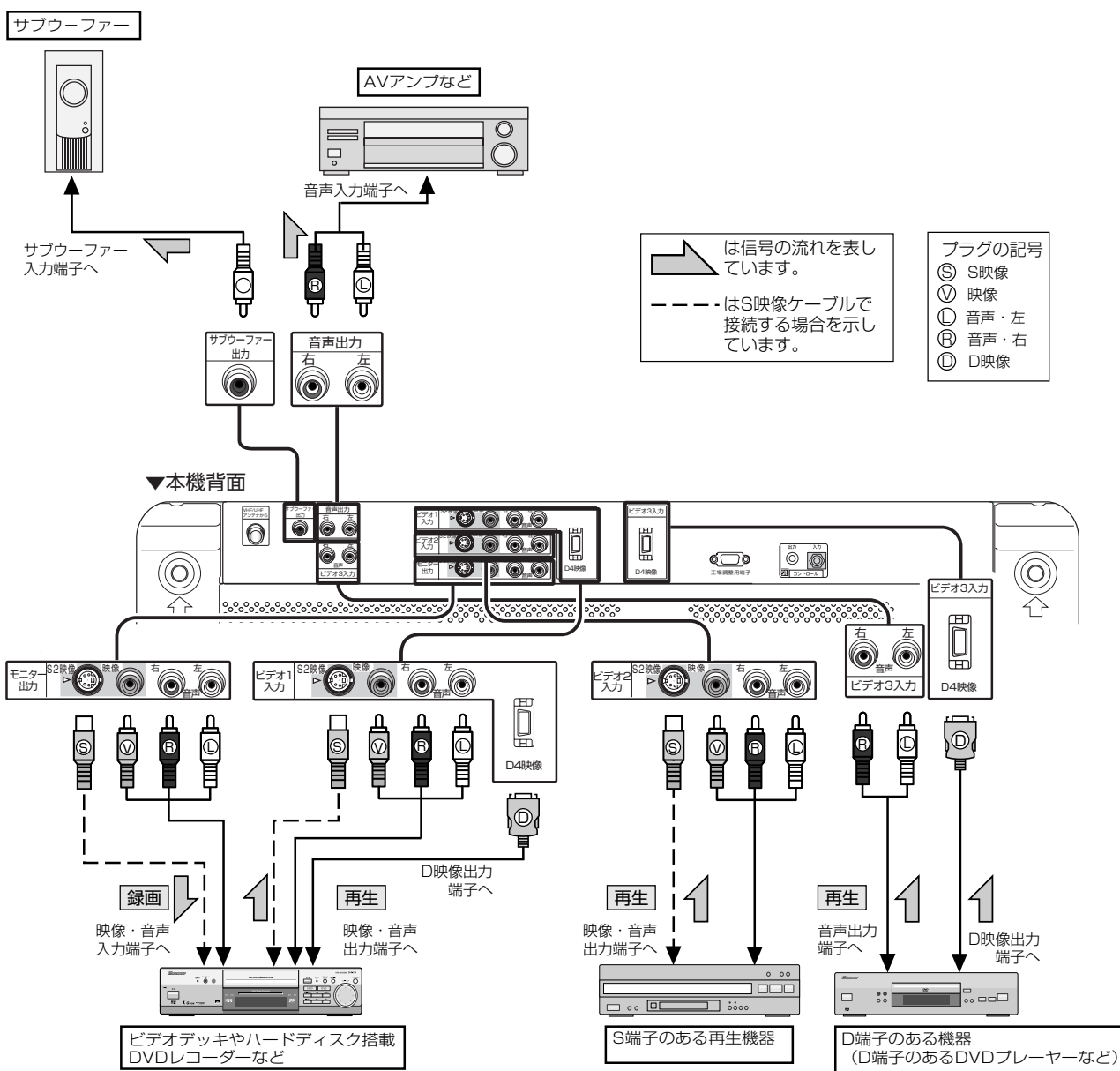
本機は電磁波妨害に対する公的規格を満足しておりますが若干の電磁波が本体より放出されております。

この電磁波が地上波の同軸ケーブルにとびつき画面にノイズを発生させる場合がありますので、良好な画質でご覧いただくためにノイズフィルターの取り付けをお願いいたします。

また同軸ケーブルはなるべく本体より離してご使用頂いたほうが本体より発生する電磁波の影響を受けにくくする事ができます。

ビデオデッキやDVDプレーヤーなどをつなぐ

本機は、ビデオ入力端子4系統とモニター出力端子1系統を搭載しています。

●接続のしかた

■本機の各ビデオ入力に接続された機器は、直接リモコンから入力を選択することができます。

ビデオ1入力(背面)：	**映像信号**	D4映像	S2映像	映像、**音声信号**	右／左	(ビデオ1)ボタン
ビデオ2入力(背面)：	**映像信号**	S2映像	映像	、**音声信号**	右／左	(ビデオ2)ボタン
ビデオ3入力(背面)：	**映像信号**	D4映像		、**音声信号**	右／左	(ビデオ3)ボタン
ビデオ4入力(前面)：	**映像信号**	S2映像	映像	、**音声信号**	右／左	(ビデオ4)ボタン

■本機前面扉内の(入力切換)を押しても入力を切り換えることができます。

ご注意

• ビデオデッキやDVDレコーダーなど録画機器は、ビデオ1入力に接続することをおすすめします。
ビデオ1入力以外に接続すると画面が乱れたり、雑音が出ることがあります。

おしらせ

• 映像・音声プラグと端子は、黄(映像)、白(音声左)、赤(音声右)の色分けがしてあります。ケーブルと接続機器側のそれぞれの色が合うように接続してください。
• 接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

● 映像入力端子の優先順位について

接続されている各端子の中から、自動的に以下の優先順位で、映像入力端子が選択されます。

ビデオ1	......................D4映像→S2映像→ビデオ映像
ビデオ2	......................S2映像→ビデオ映像
ビデオ3	......................D4映像
ビデオ4	......................S2映像→ビデオ映像

ご注意

接続上のご注意

• 接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
• 接続するときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
• 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜いてください。
• 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切っておいてください。
• 接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いの距離を十分に離してください。
• あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

おしらせ

S2映像入力端子について

• S2映像入力端子は、映像端子(ビデオ映像端子)に対し、より高画質な映像で再生するためにS端子ケーブルを使って外部機器を接続するときの端子です。
• ビデオ1、2、4入力にあるS2映像端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声端子(左・右)に接続します。
• 画面サイズ制御信号(フルモード制御信号、レターボックス制御信号)の入った映像がビデオ1、2、4入力のS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。(➡48ページ)
• 本機のS2映像入力端子に外部機器のS映像出力端子を接続しても、問題なく映像を楽しむことができます。(この場合、画面サイズ制御信号は外部機器から入ってきません。)

D4映像入力端子について

• D端子ケーブルで外部機器を接続するときに使います。
• ビデオ1入力、ビデオ3入力にあるD4映像端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声端子(左・右)に接続します。
• 画面サイズ制御信号(フルモード制御信号、レターボックス制御信号)の入った映像がビデオ1、3入力のD4映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すことができます。

モニター出力端子について

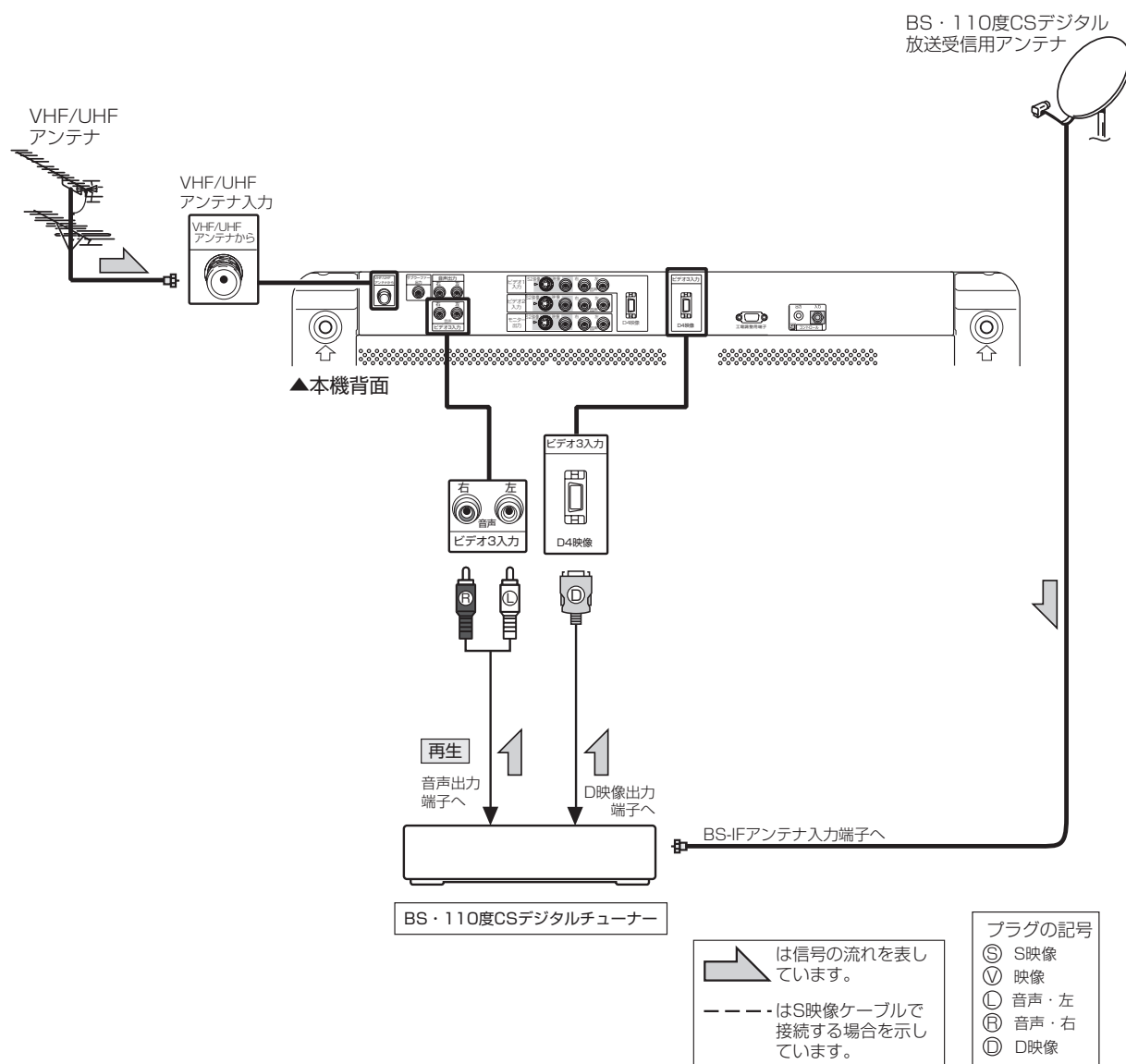
• 次の信号はモニター出力端子から出力できません。(ただし、下記②、③、④の場合音声は出力できます。)
  ①ビデオ1入力から入力されたD4映像・S2映像・映像・音声信号
  ②ビデオ3入力・D4映像端子から入力された映像信号
  ③PC(パソコン)映像信号
  ④テレビ、映像入力(ビデオ映像入力)時のS2映像出力信号(Y/C分離機能はありません。)
• S2映像入力端子から入力された信号は、モニター出力端子の映像端子からも出力されます。

音声出力端子について

• 音声出力の内容はモニター出力の音声出力と同じです。

BS・110度CSデジタルチューナーをつなぐ

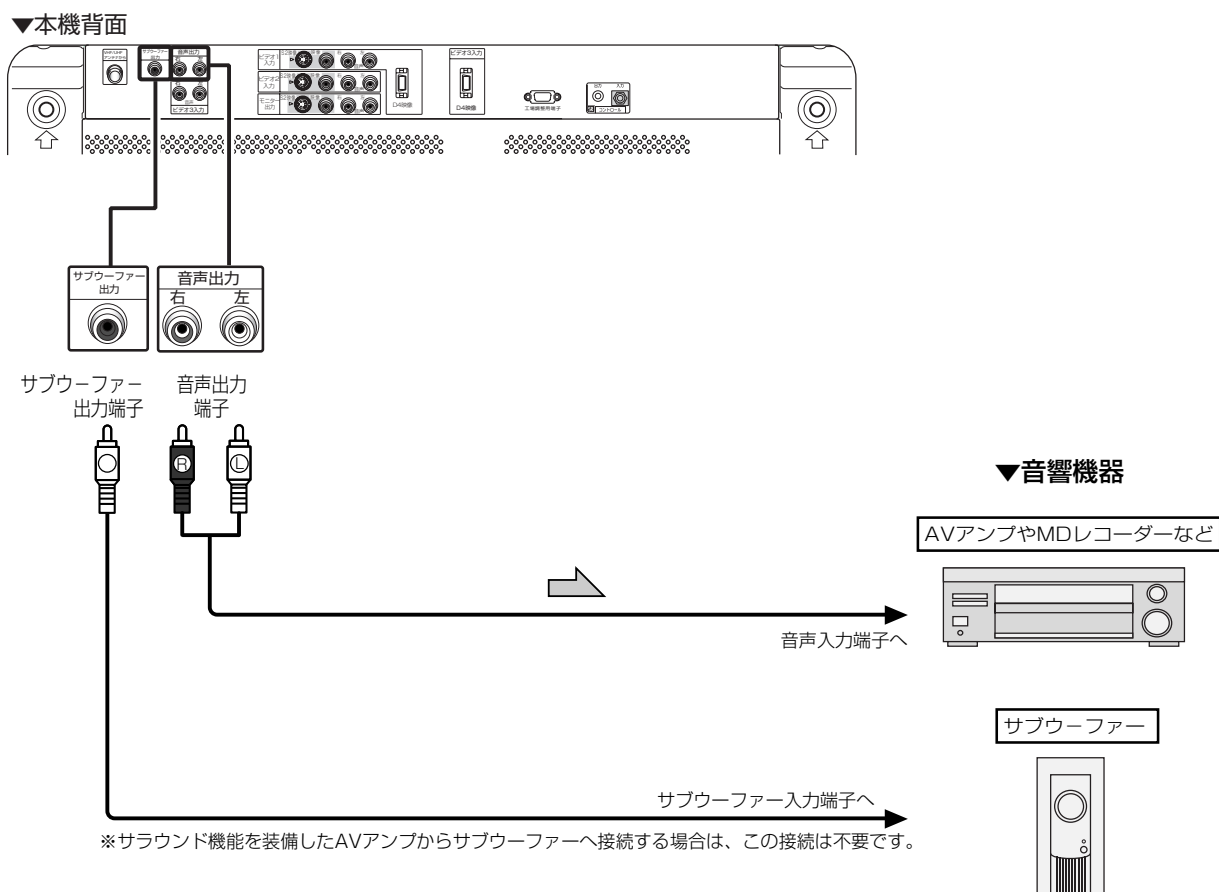
BS・110度CSデジタルチューナーと接続できます。

● 接続のしかた

ご注意

- BS・110度CSデジタル放送を録画する場合は、録画機器とBS・110度CSデジタルチューナーを直接接続してください。詳しくは、BS・110度CSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

オーディオ機器をつなぐ

AVアンプやサブウーファーなどの音響機器を接続します。

● 接続のしかた

本機のサブウーファー出力端子にサブウーファー（別売）を接続すると、簡単に迫力ある重低音を楽しむことができます。

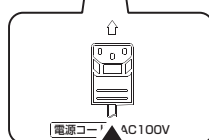
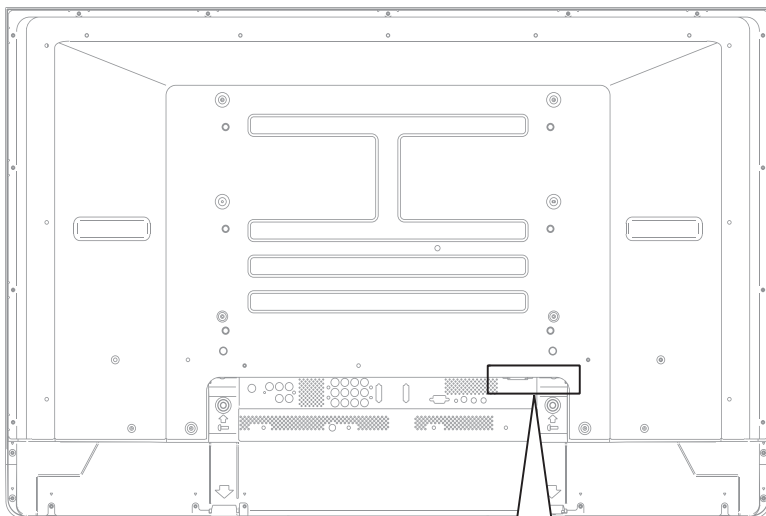
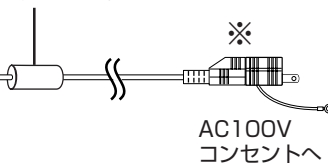
ご注意

- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録音、再生のしかたについては、本機に接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。

おしらせ

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 音声出力の内容はモニター出力の音声出力と同じです。
- 接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

電源コードの接続

▼本機背面

※ ⚠ AC変換プラグ使用上のご注意

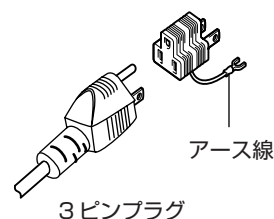
注意

電源コードは、3ピンプラグになっています。性能維持のため、アース線を接続してお使いください。

- アース端子のある2芯コンセントの場合は、付属のAC変換プラグを付けてお使いください。
- コンセントが2芯専用でアース端子がない場合は、アース工事が必要ですので、専門業者に工事を依頼してください。
- コンセントが3芯の場合は、AC 変換プラグを付けず、そのままお使いください。

AC 変換プラグ

アース線

3 ピンプラグ

⚠ 注意

接続が終了するまでは、電源を入れないでください。

準備する

電源コードの接続

かんたん設置

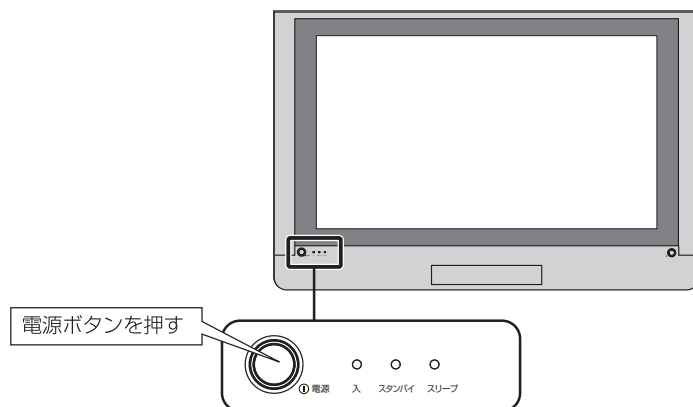
本機を購入後はじめて電源を入れると、自動的にかんたん設置の画面が表示されます。
地上波チャンネルの設定を簡単に行うことができます。

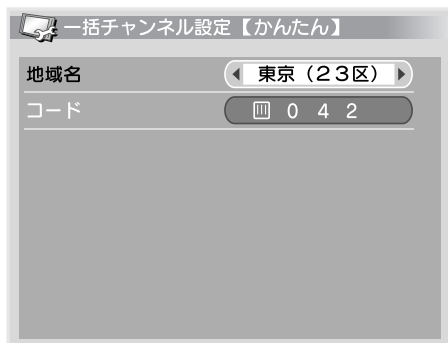
かんたん設置は、ホームメニュー➜「初期設定」➜「かんたん設置」から設定することもできます。

はじめて電源を入れる前に、必ず以下の内容を確認して下さい。

- ●本機は正しく設置されていますか？（➜23～25、32ページ）
- ●アンテナは正しく接続されていますか？（➜26～27ページ）

購入後はじめて電源を入れたとき

① 本機の主電源を入れる

② 「地域名」で← →を使用してお住まいの地域を選択するか、↑ ↓で「コード」に移動して地上波の 1 ～ 10 を使用して直接お住まいの地域のコードを入力する

地域コード早見表または地域コード一覧表をご覧ください。（➜84～87ページ）
工場出荷時は、「東京(23区)」に設定されています。

- 「0」を入力したいときは 10 を押します。
- コードの入力は、ボタンを押すと、左の桁から順に入力できます。
- コードの入力を間違えてしまったときは、改めてはじめから正しい地域コードを入力してください。

かんたん設置（つづき）

③ 決定 を押して、地上波チャンネルを設定する

- チャンネルは自動的に設定されます。
- 設定が終了すると、「チャンネル設定結果」が表示されます。

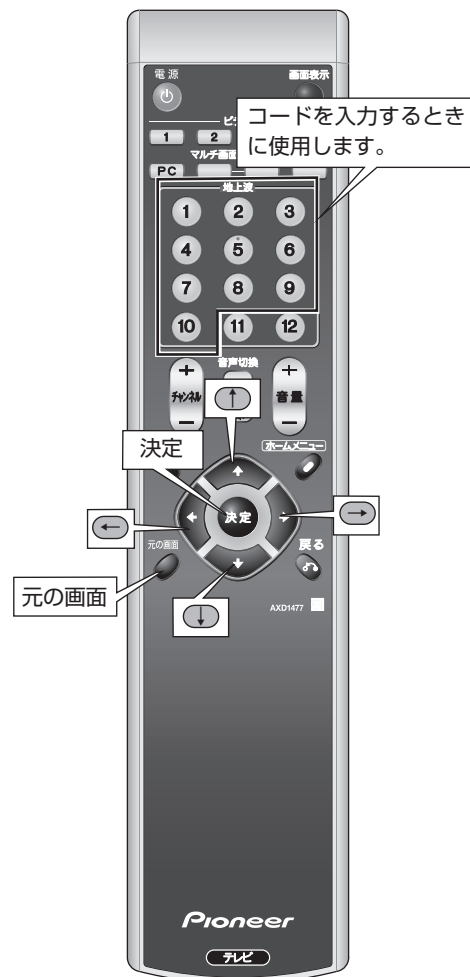
チャンネル設定結果【かんたん】 1/2

リモコン	受信CH	表示CH
1	1	1
2	14	14
3	3	3
4	4	4
5	16	16
6	6	6

チャンネル設定結果【かんたん】 2/2

リモコン	受信CH	表示CH
7	42	42
8	8	8
9	46	46
10	10	10
11	38	38
12	12	12

- ↑ ↓ で設定結果のページを切り換えることができます。

④ 元の画面 を押してかんたん設置を終了する

ご注意

- 地上デジタル放送への移行（94ページ）に伴い、お住まいの地域によっては現在放送されているアナログ放送の一部のチャンネルが他のチャンネルに変更になる場合があります。この場合、地域名または地域コードによる設定では受信できないチャンネルがありますので、個別チャンネル設定（39ページ）を行ってください。
- 設定をすべて完了する前に電源を切ると、次に電源を入れてもかんたん設置は表示されません。
  再度かんたん設置を行いたい場合や設定を変更したい場合は、ホームメニュー を押し「初期設定」「かんたん設置」をそれぞれ選んで 決定 を押します。（➔35ページ）

かんたん設置

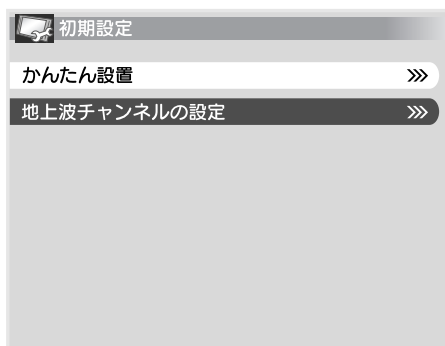
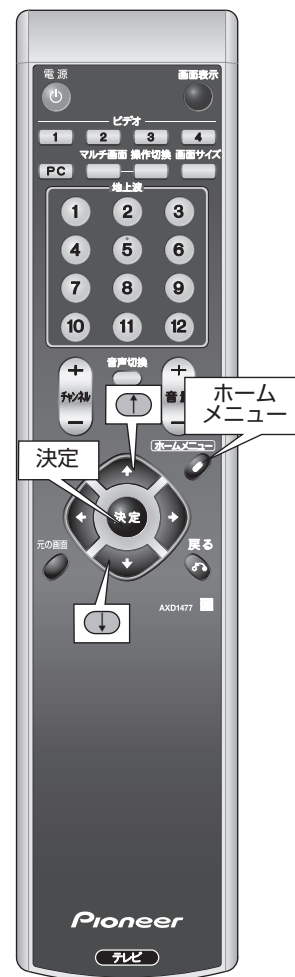
かんたん設置（つづき）

もう一度「かんたん設置」を行いたい場合

設定をすべて完了する前に電源を切ると、次に電源を入れても「かんたん設置」は表示されません。もう一度設定を行いたい場合などは、下記の手順で「かんたん設置」を行ってください。

1. ホームメニュー を押す

2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3. 「かんたん設置」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

引き続き **かんたん設置** （➔33・34ページ）の手順2〜4を行ってください。

一括でチャンネル設定する

かんたん設置で設定しない場合の別の方法です。お住まいの地域、または最寄りの地域にあわせて地上波受信チャンネルを一括設定します。

1 ホームメニュー を押す

2 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 「地上波チャンネルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4 「一括チャンネル設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

5 「地域名」で ← → を使用してお住まいの地域を選ぶか、↑ ↓ で「コード」に移動して地上波チャンネルの 1 ～ 10 を使用して直接コードを入力する

地域コード早見表または地域コード一覧表をご覧ください。(➡84～87ページ)

工場出荷時は、「東京(23区)」に設定されています。

- 「0」を入力したいときは 10 を押します。
- コードの入力は、ボタンを押すと、左の桁から順に入力できます。
- コードの入力を間違えてしまったときは、改めてはじめから正しい地域コードを入力して下さい。

6 決定 を押す

自動的に地上波チャンネルが設定されます。設定が終了すると、「チャンネル設定結果」が表示されます。

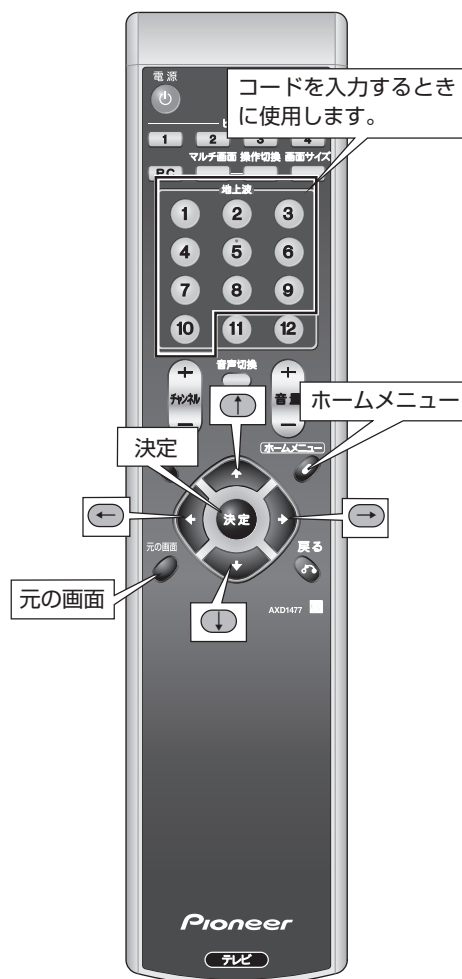
チャンネル設定結果 1/2

リモコン	受信CH	表示CH
1	1	1
2	14	14
3	3	3
4	4	4
5	16	16
6	6	6

チャンネル設定結果 2/2

リモコン	受信CH	表示CH
7	42	42
8	8	8
9	46	46
10	10	10
11	38	38
12	12	12

- ↑ ↓ で設定結果のページを切り換えることができます。

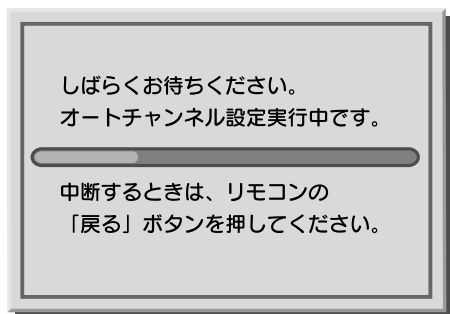
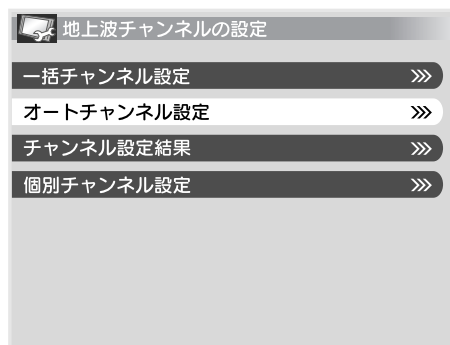
7 設定を終了するには、元の画面 を押す

ご注意

地上デジタル放送への移行(94ページ)に伴い、お住まいの地域によっては現在放送されているアナログ放送の一部のチャンネルが他のチャンネルに変更になる場合があります。この場合、地域名または地域コードによる設定では受信できないチャンネルがありますので、個別チャンネル設定(39ページ)を行ってください。

自動でチャンネル設定する

受信可能な地上波チャンネルを自動的に記憶します。
一括チャンネル設定では設定できない地域にお住まいの場合などに設定します。

1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「地上波チャンネルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「オートチャンネル設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

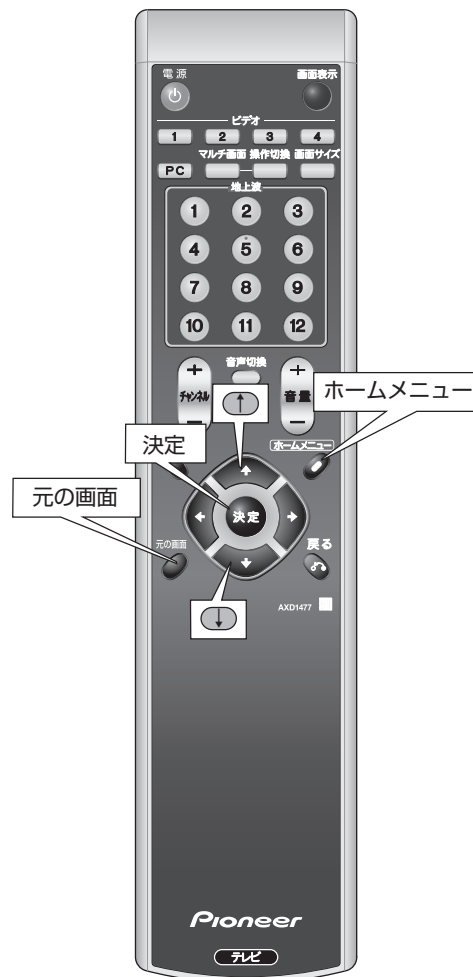
自動的に地上波チャンネルが設定されます。設定が終了すると、「チャンネル設定結果」が表示されます。

チャンネル設定結果 1/2

リモコン	受信CH	表示CH
1	1	1
2	14	14
3	3	3
4	4	4
5	16	16
6	6	6

• ↑ ↓ で設定結果のページを切り換えることができます。

5. 設定を終了するには、元の画面 を押す

準備する

自動でチャンネル設定する

チャンネル設定結果を見る

設定したチャンネルを確認します。

① ホームメニュー を押す

② 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

③ 「地上波チャンネルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

④ 「チャンネル設定結果」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

「チャンネル設定結果」が表示されます。

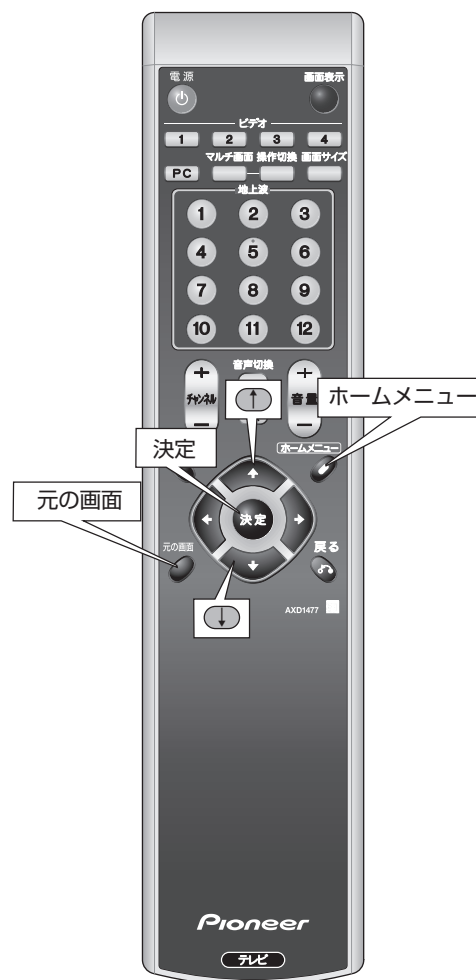
チャンネル設定結果　1/2

リモコン	受信CH	表示CH
1	1	1
2	14	14
3	3	3
4	4	4
5	16	16
6	6	6

チャンネル設定結果　2/2

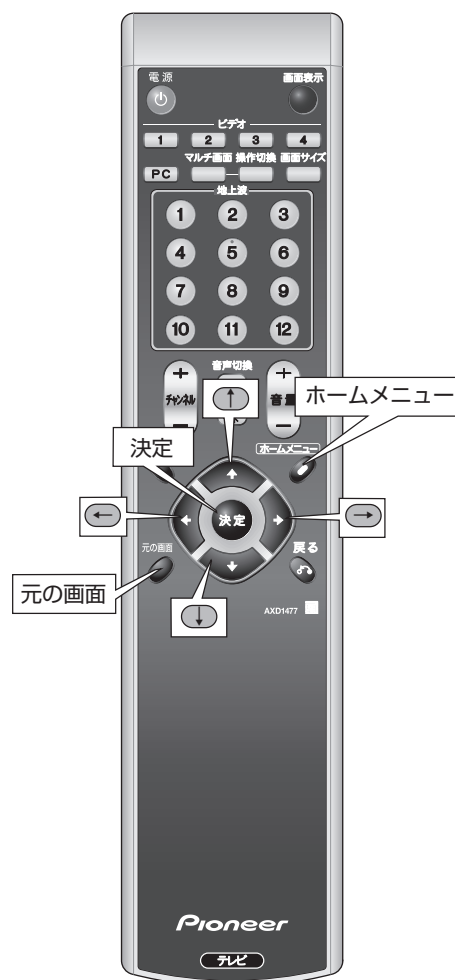
リモコン	受信CH	表示CH
7	42	42
8	8	8
9	46	46
10	10	10
11	38	38
12	12	12

- 設定できるチャンネルは最大48局です。1～12チャンネルは、リモコンの地上波チャンネルボタンで選局できます。
- ↑ ↓ で設定結果のページを切り換えることができます。

⑤ 設定を終了するには、元の画面 を押す

個別にチャンネル設定する

設定されているチャンネルを変更したいときに設定します。

1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「地上波チャンネルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「個別チャンネル設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
5. 調整したい項目を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

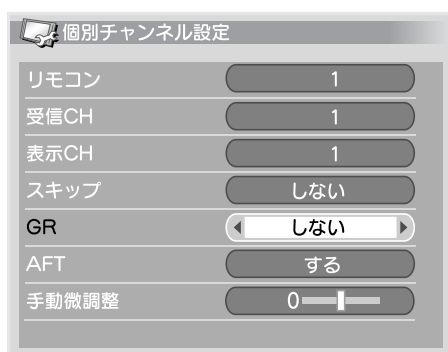
「リモコン」………	リモコンの地上波チャンネル(数字)ボタンの番号です。
「受信CH」………	放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。
「表示CH」………	テレビ画面に表示されるチャンネルのことです。共同受信など、放送と画面表示が一致しないときに書き換えると便利です。
「スキップ」………	スキップを「する」にしておくと、チャンネル＋／－ボタンで選局するときに、放送のないチャンネルを飛びこして選局できるようになります。
「ＧＲ」………	画面上のゴースト(2重映像)を軽減することができます。 (ゴーストを軽減する ➔40ページ)
「AFT」………	「する」にしておくと、自動的に最適な状態で選局します。
「手動微調整」……	ご使用になる地域によっては、調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。そのようなときは「AFT」を「しない」に設定した後、手動微調整を行って下さい。また、手動微調整中は、「GR」は一時的に「しない」状態になります。

6. 設定を終了するには、 元の画面 を押す

ゴーストを軽減する（GR）

ゴーストの影響によって見にくくなった地上波チャンネルを見やすくすることができます。GR機能は、地上波チャンネル受信のみ動作し、チャンネルごとに設定できます。
（GRはゴーストリダクションの略です）

1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「地上波チャンネルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「個別チャンネル設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
5. 「個別チャンネル設定」で、「GR」を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

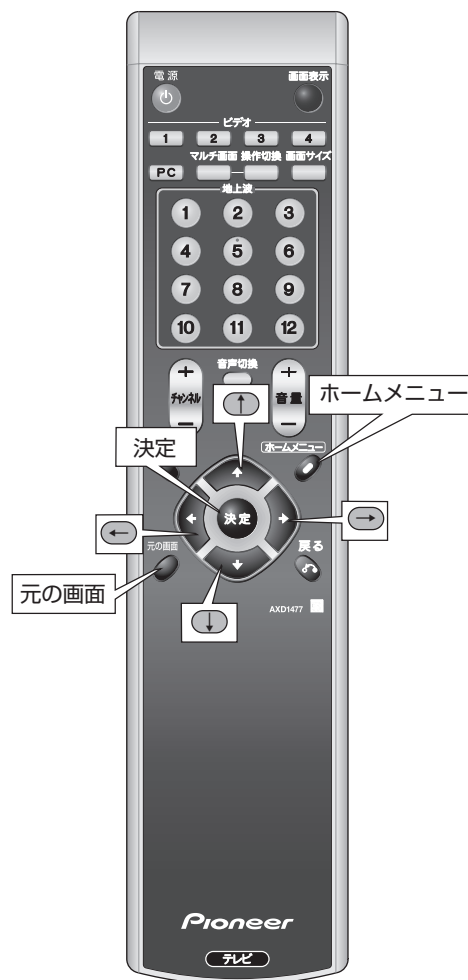
個別チャンネル設定

リモコン	1
受信CH	1
表示CH	1
スキップ	しない
GR	しない
AFT	する
手動微調整	0

「する」............ゴースト軽減機能を使用します。
「しない」.........ゴースト軽減機能を使用しません。

マルチ画面のときは、主画面（または左画面）のみGR機能が働きます。

6. 設定を終了するには、元の画面 を押す

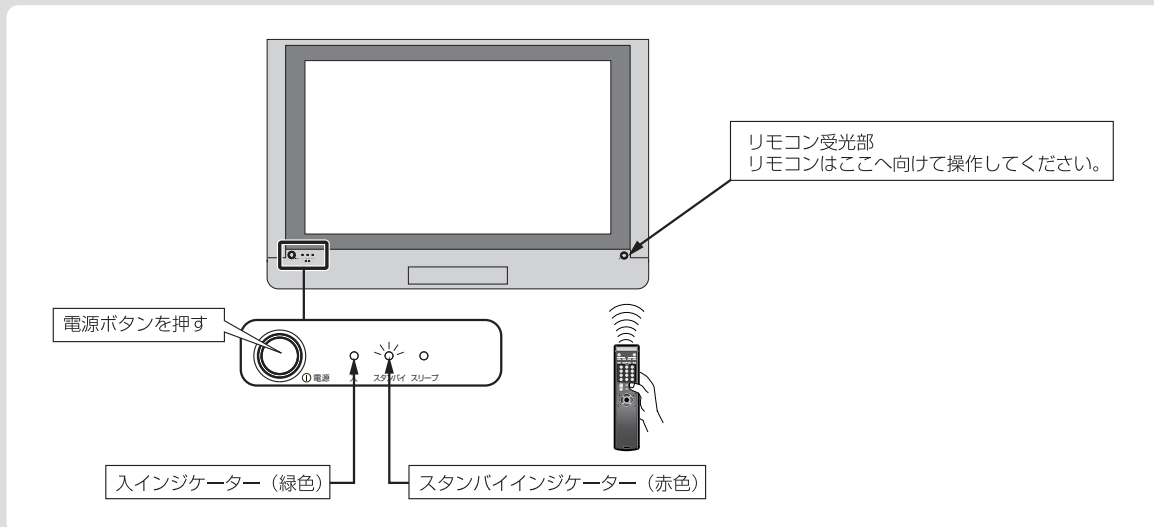
おしらせ

- **次のような場合は、ゴースト軽減効果が得られません。**
  - 放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
  - 飛行機などの反射によりゴーストが変動するとき
  - ゴーストの電波が強いとき
  - ビデオデッキからの映像を見るとき
- かんたん設置や一括チャンネル設定、オートチャンネル設定を行うと、受信可能な地上波チャンネルは、GR設定が「する」に設定されます。
- ＧＲ設定を「する」にしておくと映像が見づらい場合は、「しない」にしてください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- 電波が弱いときにＧＲ機能を働かせた場合は、新たにゴーストがつく場合があります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。（アンテナは、最も強い電波が受信できる方向に向けてください。）
- ゴーストは、場所・天候等により発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。

テレビを見る

テレビを楽しむ

1 本機の主電源を入れる

スタンバイ状態(スタンバイインジケーター赤色点灯)、または動作状態(入インジケーター緑色点灯)になります。

- 電源スタンバイ状態のとき、手順2に進みます。
- 動作状態のとき、手順3に進みます。

2 リモコンの 電源 を押して、電源を入れる

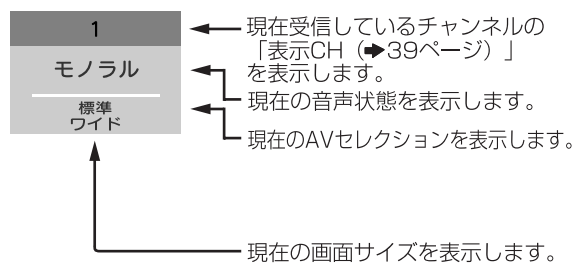
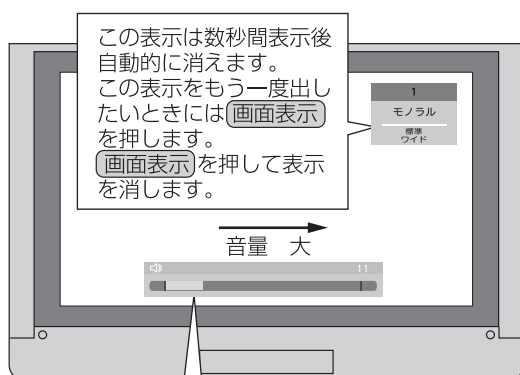
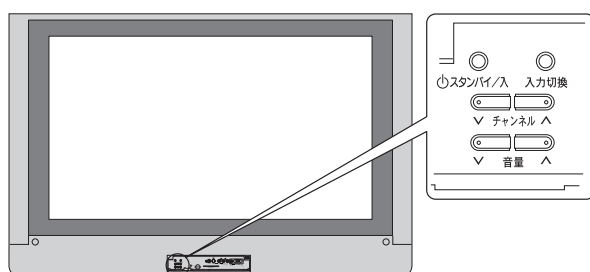
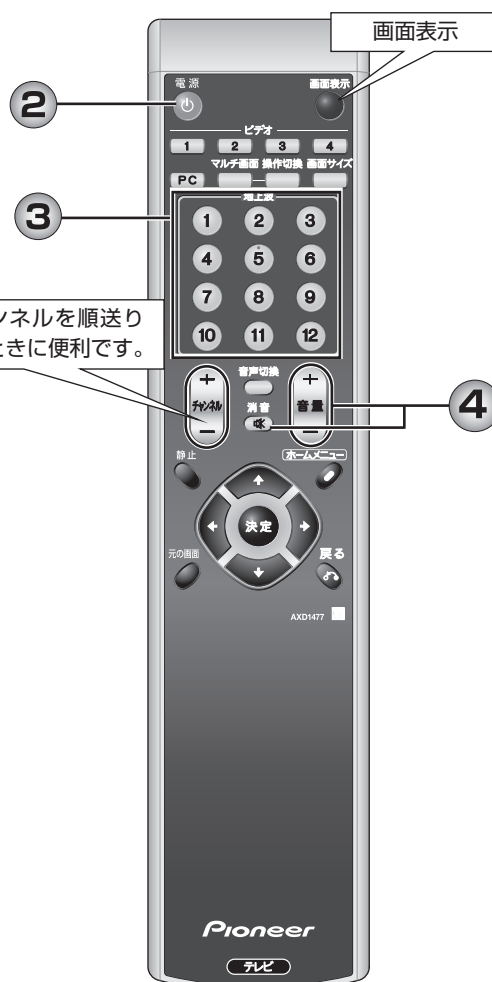
入インジケーターが緑色に点灯したことを確認してください。
本機のリモコン受光部に向けて、リモコンの 電源 を押します。
また、前面扉内のボタンでも操作することができます。

3 リモコンでお好みのチャンネルを選局する

4 音量は、リモコンの 音量(＋／－) で調節する

音量(＋)　音が大きくなります。
音量(－)　音が小さくなります。
一時的に音を消すときは、 消音 を押します。
もう一度 消音 を押すか 音量(＋) を押すと、音が出るようになります。

5 電源を切るときは、リモコンの 電源 を押す

ご注意
- リモコンはご使用前に必ず乾電池を入れてください。(リモコンの乾電池の入れ方➔20ページ)

リモコンがなくても前面扉内にあるボタンで操作することができます。

リモコン

外部入力の映像を見る

1 リモコンの電源を押して、電源を入れる

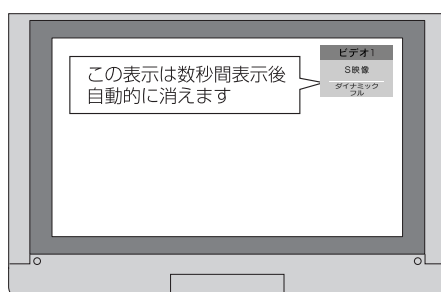
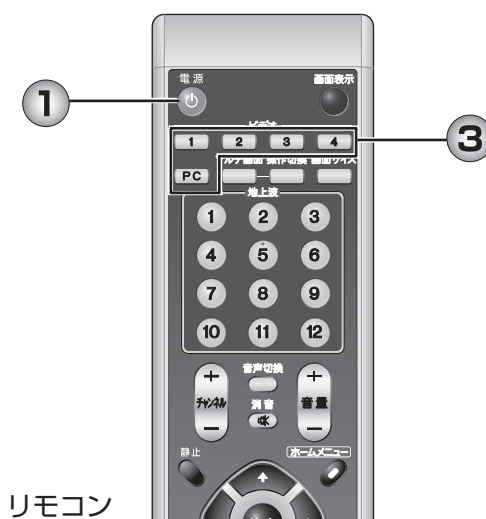
本機の入インジケーターが緑色に点灯したことを確認してください。

2 外部入力に接続した機器の電源を入れる

3 外部入力を接続したビデオ入力をリモコンで選ぶ

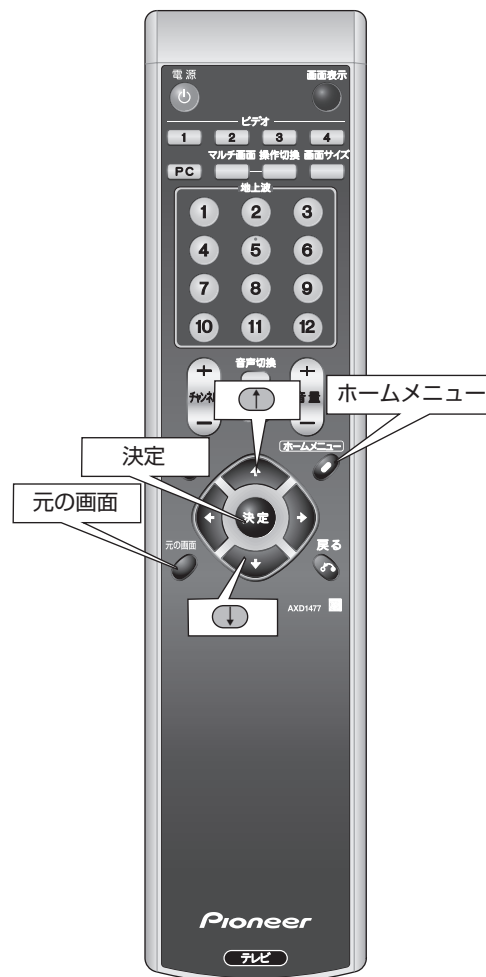
（例1）本機背面のビデオ1入力端子にビデオデッキを接続したときは、リモコンの(ビデオ1)を押します。
前面扉内のボタンで操作するときは、(入力切換)を押して「ビデオ1」を選びます。

（例2）本機前面扉内のPC入力端子にパソコンを接続したときは、リモコンの(PC)を押します。
前面扉内のボタンで操作するときは、(入力切換)を押して「PC」を選びます。

4 外部入力に接続した機器を再生状態にする

おしらせ
・各ビデオ入力の優先順位は29ページをご覧ください。

自動で電源を切る（おやすみタイマー）

設定時間が過ぎると自動的に電源スタンバイ状態になります。

① ホームメニュー を押す

② 「おやすみタイマー」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

③ ↑ ↓ でおやすみタイマーを設定したい時間を選んで 決定 を押す

工場出荷時は、「しない」に設定されています。

- おやすみタイマーを設定すると、スリープインジケーターが橙色で点灯します。

④ 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

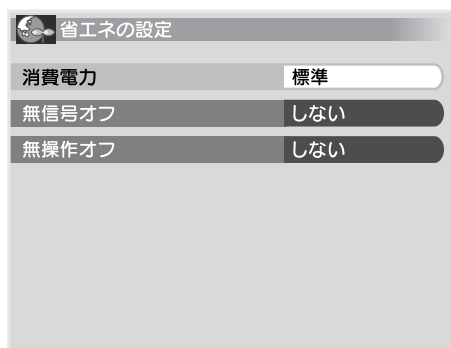
- おやすみタイマーを設定すると、電源が切れる5分前から残り時間を1分ごとに表示します。
- 残り時間が0分になると、残り0分表示後電源スタンバイ状態になります。
- おやすみタイマーを実行した後は、自動的に「しない」に設定されます。
- 本機の主電源を切ったり手動で電源スタンバイ状態にすると、おやすみタイマーは自動的に「しない」に設定されます。

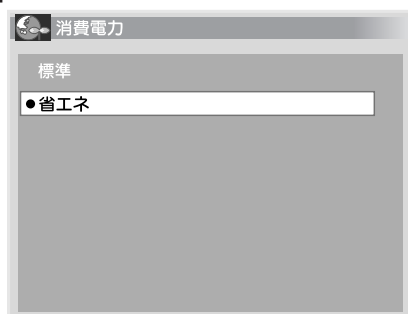
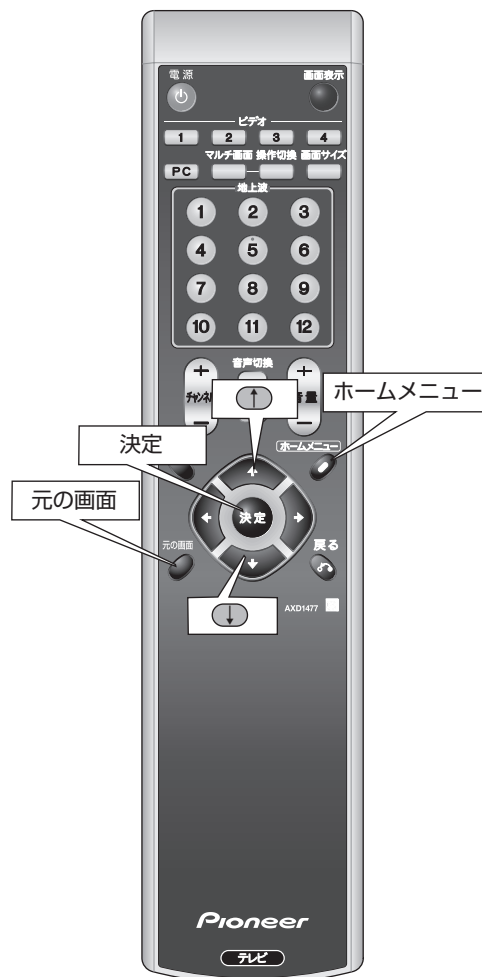
省エネ機能を使う

日ごろの節電に役立つ、省エネ機能を設定することができます。

1 ホームメニュー を押す

2 「省エネの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 設定したい項目を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

消費電力	消費電力を抑えられる「省エネ」モードがあります。 「標準」....... 通常の明るい映像です。 「省エネ」... 画面の明るさを抑えて節電しながらテレビを見るときに使います。 工場出荷時は、「標準」に設定されています。
無信号オフ	無信号になったとき、約15分後に自動的に電源をスタンバイ状態にする機能です。 「する」....... 無信号オフ機能を使用します。 「しない」... 無信号オフ機能を使用しません。 工場出荷時は、「しない」に設定されています。
無操作オフ	3時間何も操作しないと、自動的に電源をスタンバイ状態にする機能です。 「する」....... 無操作オフ機能を使用します。 「しない」... 無操作オフ機能を使用しません。 工場出荷時は、「しない」に設定されています。

4 好みの設定を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

5 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

- 無信号オフや無操作オフを「する」に設定すると、電源が切れる5分前から残り時間を1分ごとに表示します。

無信号オフ機能について

- 地上波およびビデオ入力信号のみ、無信号オフ機能が働きます。
- PC入力のとき、無信号オフ機能は働きません。PC入力のときは、パワーマネージメント機能(➔79ページ)をお使いください。
- 次のような場合、正しく動作しない場合があります。
  - 放送が終了しても、隣接する他局の放送が混入するとき
  - 試験放送などその他の電波が混入するとき
  - ブルーバックなどの映像信号が入力されているとき
- テレビを視聴中に電波の状態により、無信号オフ機能が働いて電源が切れてしまう場合は、設定を「しない」にしてください。

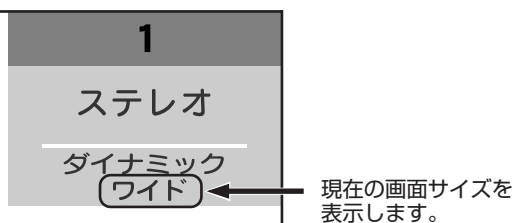
無操作オフ機能について

- PC入力のとき、無操作オフ機能は働きません。

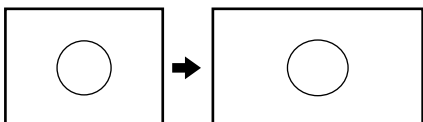
画面サイズを切り換える

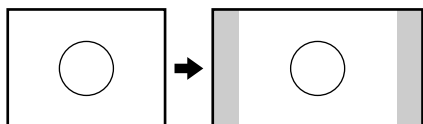
放送や映像の内容によって画面サイズを自動的に切り換えたり、お好みの画面サイズに変更したりすることができます。

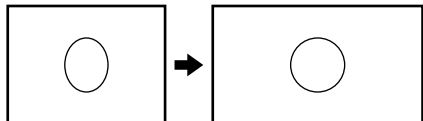
① 画面サイズ を押して、お好みの画面サイズを選ぶ

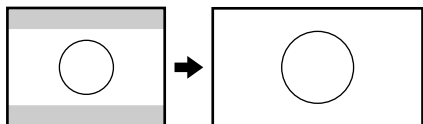
現在の画面サイズを表示します。

■つぎの５つの画面サイズから選択できます。

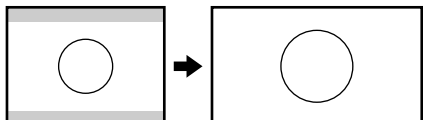
ワイド

通常の4:3映像を画面いっぱいに映します。

4:3

通常のテレビ画面(4:3サイズ)の映像をそのまま映します。

フル

16:9から4:3に圧縮(スクイーズ)された映像をもとの16:9に戻して画面いっぱいに映します。

ズーム

シネマスコープサイズまたは16:9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。

シネマ

ビスタサイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。

選択できる画面サイズは、通常のテレビ／ビデオ映像とハイビジョン映像とで異なります。

テレビ／ビデオ画面	→ワイド→4:3→ フル → ズーム→ シネマ
ハイビジョン画面(1125i)	→ フル1(1080i) → フル2(1035i)

ご注意

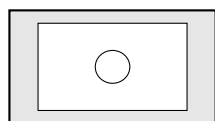
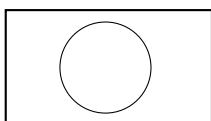
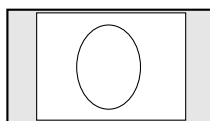
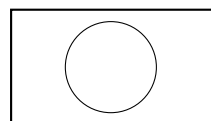
- 画面サイズ4：3や上下に黒帯が表示されるレターボックス等の映像を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返し表示すると焼き付きによる残像が残ります。著作者の権利を侵害するおそれがある場合(➡48ページ・ご注意)を除き、画面の焼き付きを避けるため、映像を画面いっぱいに映す画面サイズに切り換えてお楽しみいただくことをおすすめします。

画面サイズを切り換える（つづき）

■画面サイズ制御信号の入った映像の表示について

本機は、ビデオ入力端子から入力された映像信号に含まれる画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動選択する機能を備えています。

レターボックス ....4：3の画面の中に16：9の映像が含まれているもの。

フルモード........... オリジナルの映像が16：9のもの。

レターボックス制御信号の入った映像

自動的にズームで表示します

フルモード制御信号の入った映像

自動的にフルで表示します

D 識別対応 .... DVDプレーヤーなどをD端子ケーブルで接続したとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号の含まれた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。

「S2 対応」機能 .... DVDプレーヤーなどをS映像ケーブルで接続したとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号の含まれた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。あらかじめ設定を行ってください。（➡49 ページ）

ご注意

• テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ切り換え機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

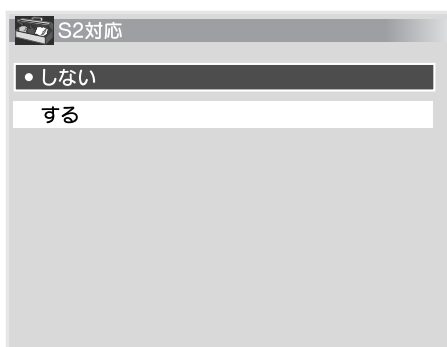
おしらせ

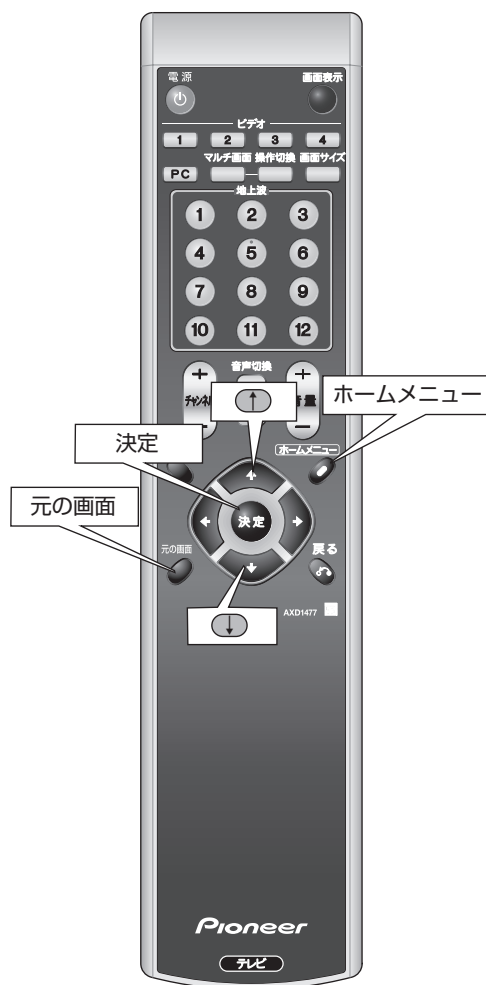
• 画面サイズ切り換え機能を使って、テレビ番組やビデオソフトなどをオリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。
• 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切り換え機能で最適なサイズに切り換え、位置調整（➡50ページ）で垂直位置を調整してください。このとき、番組やビデオソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
• オリジナル映像のサイズ（シネマスコープサイズ・ビスタサイズなど）によっては、上下に黒い帯が残る場合があります。

画面サイズを自動で切り換える(S2対応)

本機のビデオ1、2、4入力で使用されているS2映像端子の設定を行います。

1. ホームメニュー を押す
2. 「その他の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「S2対応」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. ↑ ↓ でお好みの設定を選んで 決定 を押す

工場出荷時は、「する」に設定されています。

「する」........ フルモード制御信号やレターボックス制御信号を識別して、自動的に画面サイズを切り換えます。
「しない」.... 画面サイズは自動的に切り換わりません。お好みの画面サイズを手動でお選びください。

5. 設定を終了するには、元の画面 を押す

テレビを見る

画面サイズを自動で切り換える

画面の位置を調整する

映画の字幕が画面に入りきらないときなどに、映像の位置調整を行います。

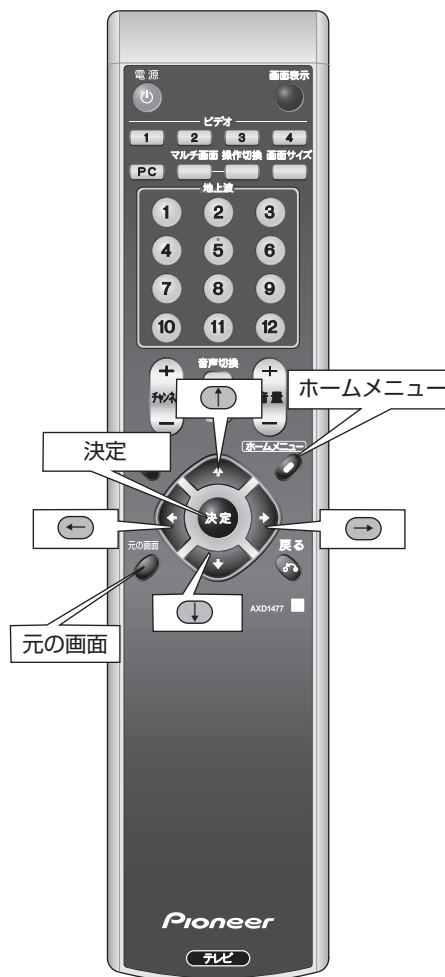
❶ ホームメニュー を押す

❷ 「その他の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

❸ 「画面位置の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

❹ 「水平・垂直位置」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

❺ ← → ↑ ↓ で、お好みの上下左右位置に調整する

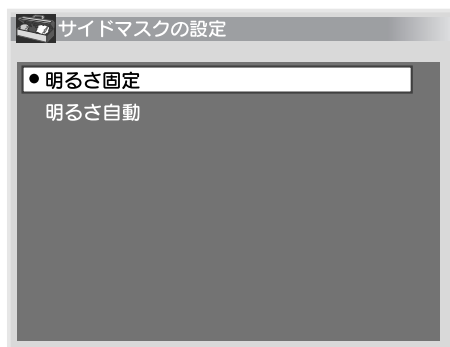
❻ 調整を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

- 画面の位置を調整すると、画像や画面表示の一部が欠けることがあります。このようなときは、最適な画面位置に調整してください。
- 画面位置の調整を元に戻すときは、手順 ❹ で「初期状態に戻す」を選んで 決定 を押し、↑ ↓ で「する」を選んで 決定 を押します。

画面左右の明るさを変える（サイドマスクの設定）

画面サイズ4:3を選んでいるとき、画面左右に現れる灰色部分（サイドマスク）の明るさをお好みに合せて選ぶことができます。

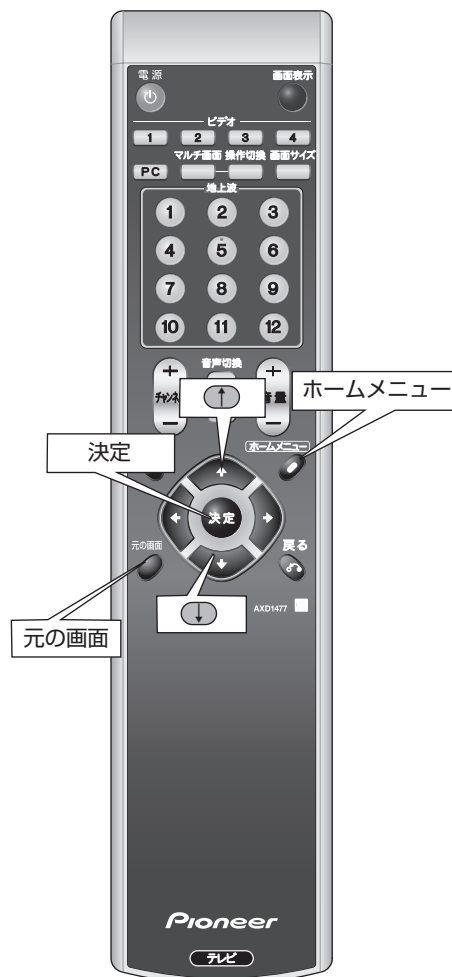
1. ホームメニュー を押す
2. 「その他の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「サイドマスクの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. お好みの設定を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

工場出荷時は、「明るさ固定」に設定されています。

「明るさ固定」... サイドマスクの明るさを、一定の明るさ（灰色）で表示します。

「明るさ自動」... サイドマスクの明るさを、映像に連動した明るさ（灰色）で表示します。

5. 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

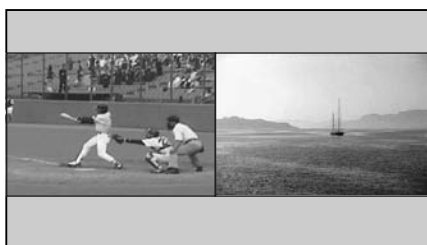
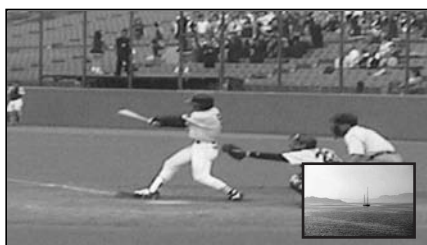
• 「明るさ自動」を選んでおくと、画面の残像や焼き付きの発生を軽減することができます。

マルチ画面にする

地上波テレビとビデオの画面を同時に表示させるなどマルチ画面表示ができます。

① マルチ画面 を押す

マルチ画面 は、押すごとに次のように変わります。

1画面の状態から

1回押す	2画面表示（それまでご覧になっていた画面が左画面になります。）
続けてもう一度押す	PinP表示
続けてもう一度押す	最初の1画面に戻る

2 画面表示

PinP 表示

■ マルチ画面の状態で、操作切換 を押すと操作できる画面（音声付き）が切り換わります。操作切換 を押すごとに「♪」記号が他の画面に移動し、音声が同時に切り換わります。

■ マルチ画面で表示した画面を1画面で見たい場合

1 操作切換 で切り換えたい画面の音声を選択する

2 マルチ画面 を押す

どのタイプのマルチ画面からでも、操作切換 で選択した画面が、1画面で表示されます。

② マルチ画面を終了するには、元の画面 を押す

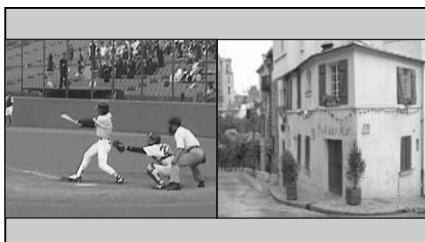
ご注意

- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ切り換え機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 長時間マルチ表示したり、短時間でも毎日くり返しマルチ表示させると焼き付きによる残像がでることがあります。
- 同じ入力の組み合わせ（例：地上波テレビどうし、ビデオ1入力どうし等）ではマルチ画面はできません。
- 2画面表示にしたとき、映像によっては右側の画面が粗く見えることがあります。

画面を静止させる

見ている放送や映像を静止させることができます。
料理番組などのメモをとったりするときに便利です。

1 映像を静止させたいところで、静止 を押す

2画面状態となり、左の画面が通常の画面(動画)、右側の画面が静止画になります。

通常の画面　　静止画面

2 1画面に戻すには、もう1度 静止 を押す

元の画面を押しても、1画面に戻ります。

ご注意

- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ切り換え機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 長時間画面を静止したり、短時間でも毎日くり返し静止画を表示させると焼き付きによる残像がでることがあります。

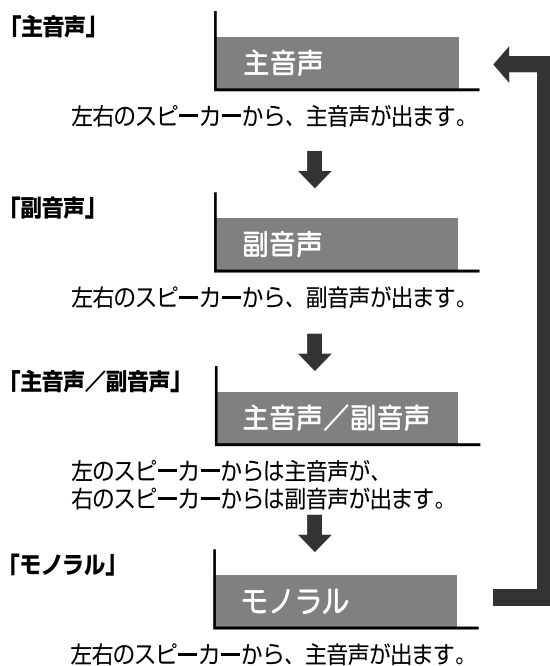
おしらせ

- 静止画表示になってから5分経過すると、静止画表示は解除され自動的に１画面に戻ります。
- 静止画表示中の画面サイズ切り換えはできません。

二重音声やステレオで聞く

二重音声放送やステレオ放送のとき、音声切換ボタンでお好みの音声に切り換えることができます。

●二重音声放送の音声切換

音声切換を押すたびに、つぎのように切り換わります。

●ステレオ放送の音声切換

雑音が多い場合は、音声切換を押して「モノラル」にします。

- 音声切換で「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
- ステレオ放送で聴くときは、もう一度音声切換ボタンを押して「モノラル」以外に切り換えてください。

おしらせ
- 二重音声放送は、ニュースや洋画などの2ヶ国語放送で使われており、吹き替えの日本語（主音声）と英語（副音声）の2種類の音声が楽しめます。

映像を調整する

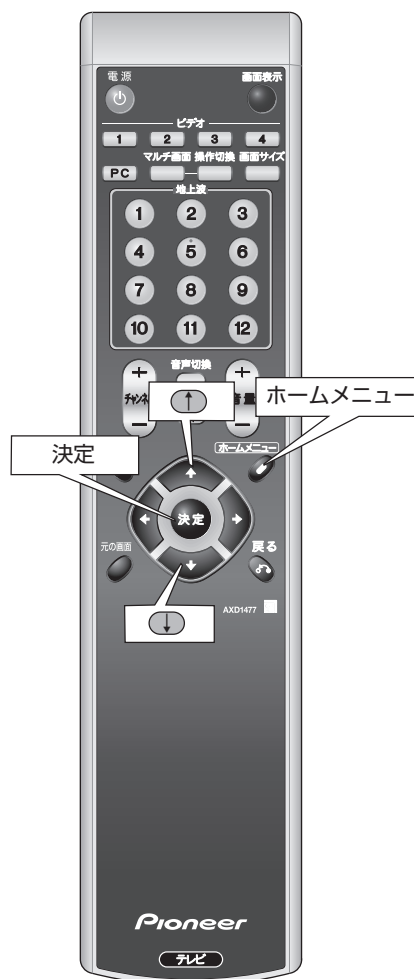
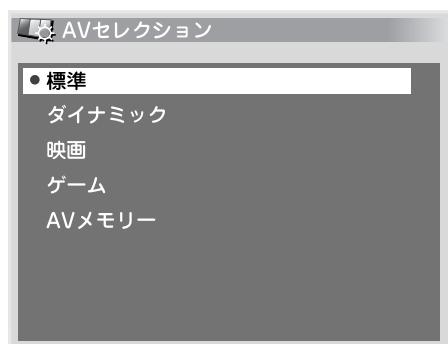
お好みの映像・音声にする（AV セレクション）

最適な映像・音声で楽しめるよう、５種類の設定をあらかじめご用意しています。

1 ホームメニュー を押す

2 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 「AV セレクション」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4 ↑ ↓ でお好みの設定を選んで 決定 を押す

- テレビやビデオ入力など、各入力ごとに選ぶことができます。
- パソコン接続時の AV セレクションは、「標準」と「AV メモリー」の２種類になります。

工場出荷時は、「ダイナミック（テレビ、ビデオ入力）」または「標準（PC 入力）」に設定されています。
通常は「標準」でお使いになることをおすすめします。

「標準」	標準的な画質・音質の設定になります。
「ダイナミック」	コントラストを最大限に引き上げた、メリハリの非常に強い映像にします。
「映画」	コントラスト感を抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
「ゲーム」	テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。
「AV メモリー」	入力ごとにお好みの調整内容を記憶させることができます。

お好みの画質にする

お好みの画質に調整することができます。

1 ホームメニュー を押す

2 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 調整したい項目を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4 ← →でお好みの画質に調整する

• お好みの調整は、現在選ばれている「ＡＶセレクション」（例えば「映画」など）に対して行います。
• あらかじめお好みの調整をしたい「AVセレクション」に切り換えてください。（➡56 ページ）

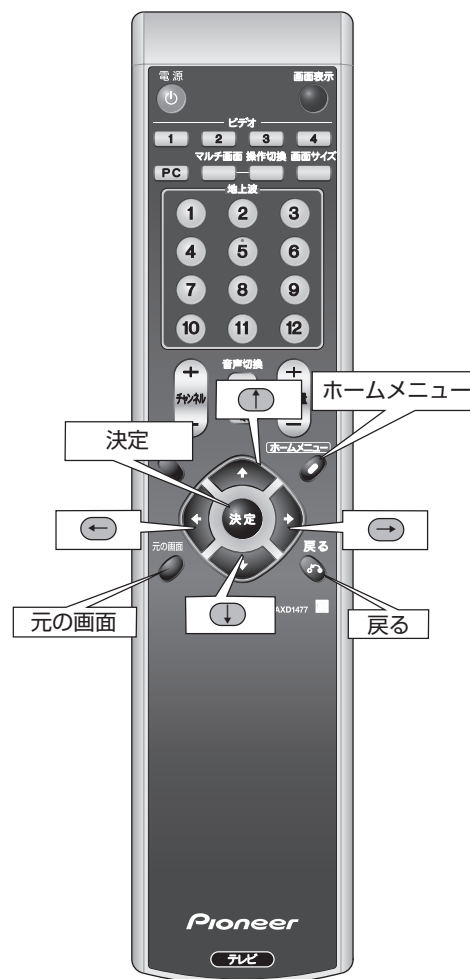
項目	← を押すと	→ を押すと
映像	明暗の差が弱くなる	明暗の差が強くなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	肌色が紫がかる	肌色が緑がかる
画質	やわらかな映像になる	くっきりした映像になる

（例）

他の項目を調整するときは、戻る を押して手順 3 4 をくり返します。

5 調整を終了するには、元の画面 を押す

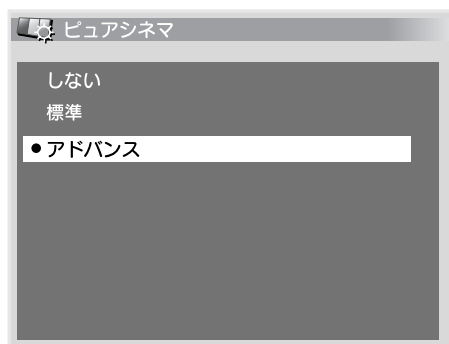
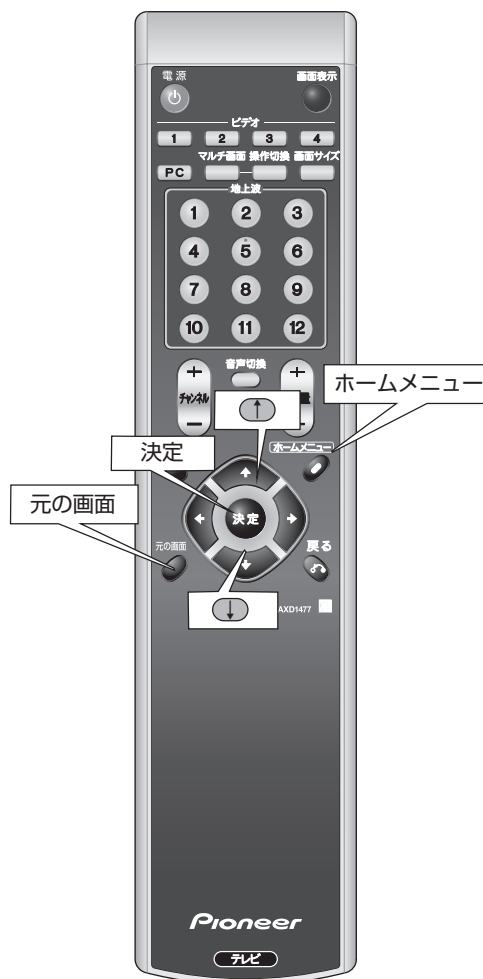
ご注意
• AV セレクションで「ダイナミック」を選んでいるときは、調整できません。

おしらせ
• 手順 4 で ↑ や ↓ を押すと、調整項目を直接切り換えることができます。

DVD映像をさらに美しく（ピュアシネマ）

フィルム収録の DVD 映像などを、さらに美しく再生することができます。

1. ホームメニュー を押す
2. 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「プロ設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「ピュアシネマ」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

   「ピュアシネマ」は、現在選ばれている「ＡＶセレクション」に対して設定します。

5. ↑ ↓ で好みの設定を選んで 決定 を押す

「しない」.......... ピュアシネマを使用しません。
「標準」.............. 映画など毎秒 24 コマで収録されている DVD ソフトやハイビジョン映像を表示するとき、記録されている映像情報を自動的に検出し、フィルム本来の滑らかで美しい映像を楽しむことができます。
「アドバンス」.. 映画など毎秒24コマで収録されているDVDソフトを表示するとき、72Hzに変換し再生することにより、スクリーンで見るような滑らかな動きとフィルム映写の質感も楽しむことができます。

6. 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ
- 525P などプログレッシブ信号が入力されているときは、「標準」は選べません。
- 「アドバンス」にすると、映像信号によっては画面がちらついたり乱れることがあります。このような場合は、設定を「しない」または「標準」にしてください。

お好みの白色にする（色温度）

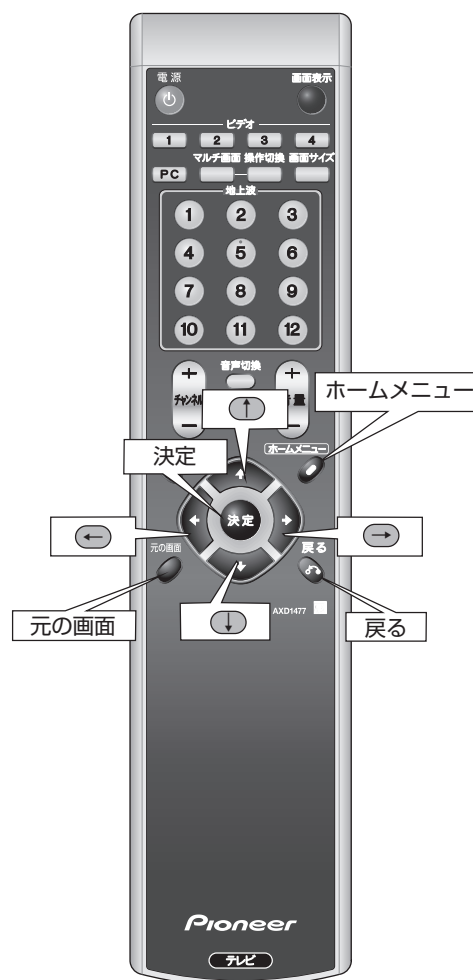
お好みに応じて白色の色調を設定します。

1. ［ホームメニュー］を押す
2. 「映像の調整」を［↑］［↓］で選んで［決定］を押す
3. 「プロ設定」を［↑］［↓］選んで［決定］を押す
4. 「色温度」を［↑］［↓］で選んで［決定］を押す

   「色温度」は、現在選ばれている「AVセレクション」に対して設定します。

5. ［↑］［↓］でお好みの設定を選んで［決定］を押す

「高」.......... 青味が強い色調になります。
「高－中」..「高」と「中」の中間の色調です。
「中」.......... 自然な色調になります。
「中－低」..「中」と「低」の中間の色調です。
「低」.......... 赤味が強い色調になります。
「手動」...... お好みに調整した色温度になります。

ホームメニュー
決定
↑
←
→
元の画面
↓
戻る

■ 色温度を手動で調整したいとき

1 手順⑤で「手動」を選んで、［決定］を３秒間以上押し続けて手動調整画面を表示する
2 調整したい項目を［↑］［↓］で選んで、［決定］を押す
3 ［←］［→］でお好みの調整を行う
- 他の項目を調整するときは、［戻る］を押して手順２、３をくり返します。
- ［↑］［↓］を押すと、調整項目を直接切り換えることができます。

4 調整を終了するときは、［元の画面］を押す

項目		［←］を押すと	［→］を押すと
R ドライブ	明るい部分の微調整です	赤が弱くなる	赤が強くなる
G ドライブ		緑が弱くなる	緑が強くなる
B ドライブ		青が弱くなる	青が強くなる
R カットオフ	暗い部分の微調整です	赤が弱くなる	赤が強くなる
G カットオフ		緑が弱くなる	緑が強くなる
B カットオフ		青が弱くなる	青が強くなる

MPEG 映像をスッキリさせる（MPEG NR）

DVD などの映像のざわつき（モスキートノイズ）を軽減し、スッキリさせる機能です。

1. ホームメニュー を押す
2. 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「プロ設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「MPEG NR」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

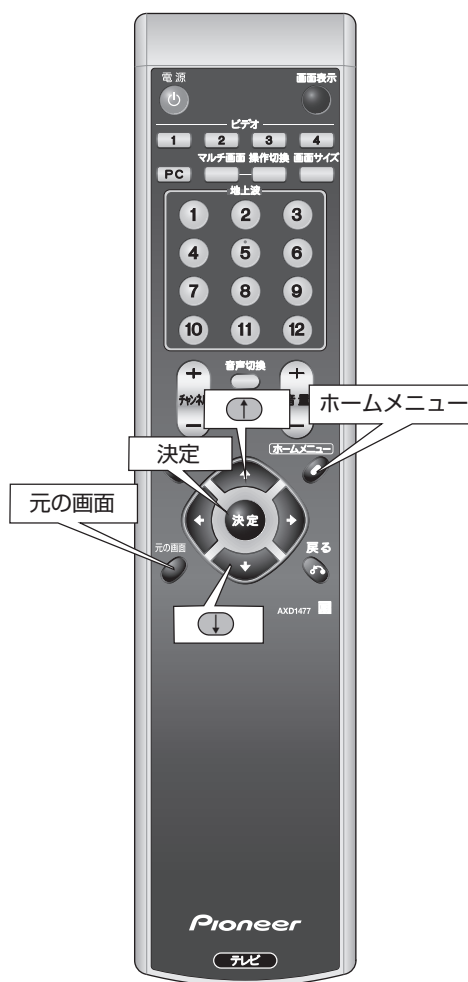
   「MPEG NR」は、現在選ばれている「AVセレクション」に対して設定します。

5. ↑ ↓ でお好みの設定を選んで 決定 を押す

「しない」.. MPEG NR を使用しません。
「強い」...... MPEG NR を強に設定します。
「中」.......... MPEG NR を中に設定します。
「弱い」...... MPEG NR を弱に設定します。

6. 設定を終了するには、元の画面 を押す

映像を調整する

MPEG映像をスッキリさせる（MPEG NR）

映像をスッキリさせる（DNR）

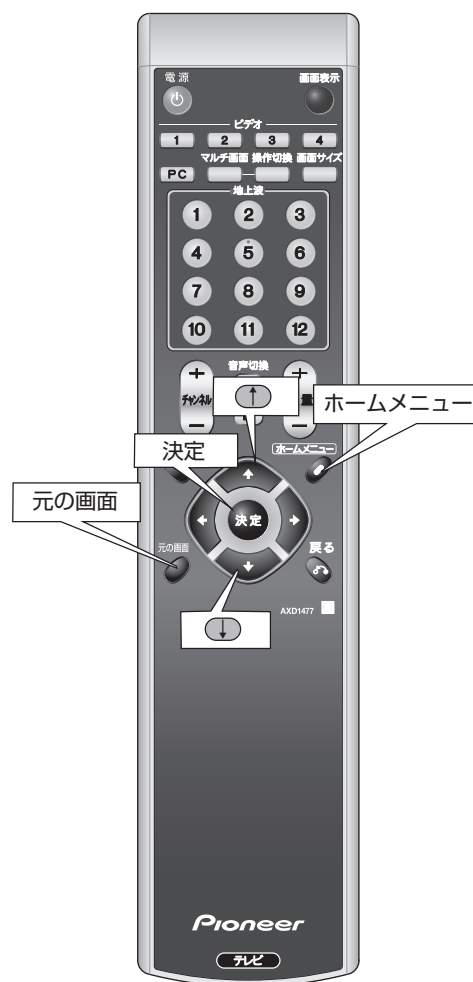
ビデオなどの映像のざらつきを軽減し、スッキリさせる機能です。

1. ホームメニュー を押す
2. 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「プロ設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「DNR」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

   「DNR」は、現在選ばれている「AVセレクション」に対して設定します。

5. ↑ ↓ でお好みの設定を選んで 決定 を押す

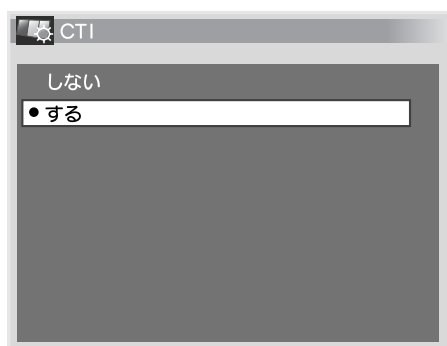
「しない」.. DNRを使用しません。
「強い」...... DNRを強に設定します。
「中」.......... DNRを中に設定します。
「弱い」...... DNRを弱に設定します。

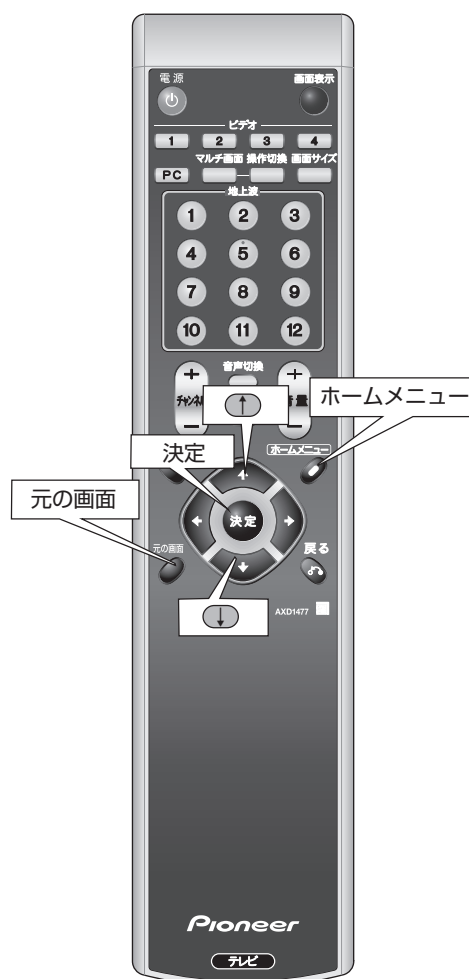
6. 設定を終了するには、元の画面 を押す

色の境目を際立たせる（CTI）

お好みに応じて色の輪郭を鮮明にします。（CTI:Color Transient Improvement）

1. ホームメニュー を押す
2. 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「プロ設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「CTI」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

   「CTI」は、現在選ばれている「AV セレクション」に対して設定します。

5. ↑ ↓ でお好みの設定を選んで 決定 を押す

「しない」..CTI を使用しません。
「する」......CTI を使用します。

6. 設定を終了するには、元の画面 を押す

コントラスト感を強くする（DRE）

映像の明るい部分と暗い部分を強調して、明暗の差がはっきりした映像にします。
（DRE:Dynamic Range Expander）

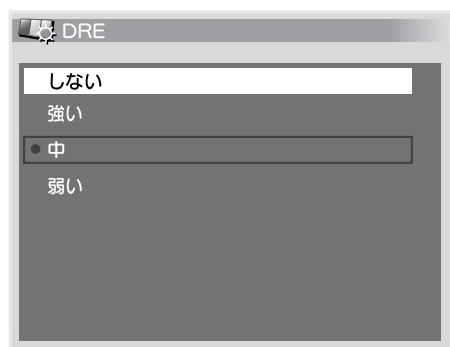
1 ホームメニュー を押す

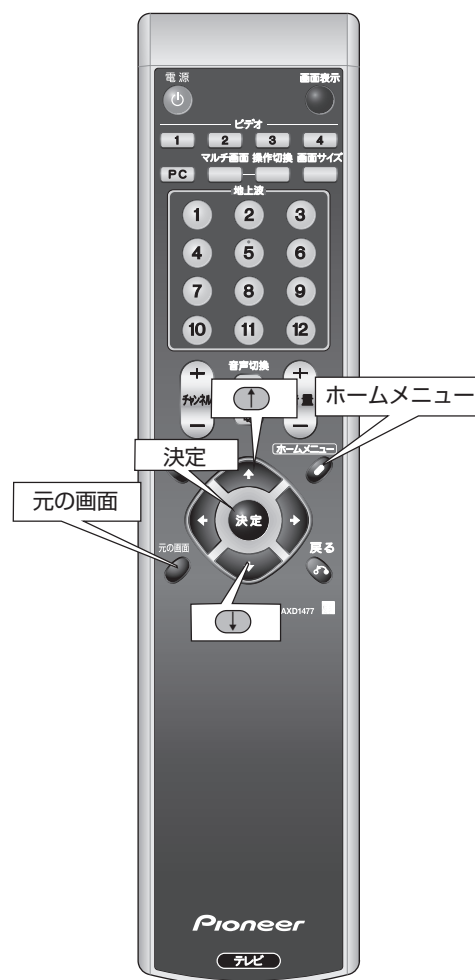
2 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 「プロ設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4 「DRE」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

「DRE」は、現在選ばれている「AV セレクション」に対して設定します。

5 ↑ ↓ でお好みの設定を選んで 決定 を押す

「しない」.. DRE を使用しません。
「強い」...... DRE を強に設定します。
「中」.......... DRE を中に設定します。
「弱い」...... DRE を弱に設定します。

6 設定を終了するには、元の画面 を押す

映像を調整する

コントラスト感を強くする（DRE）

自然な色再現にする（カラーマネージメント）

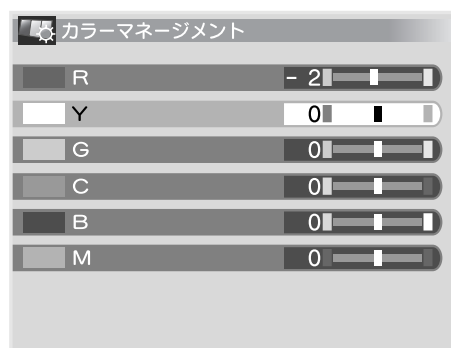
色相を系統色ごとにより細かく調整します。

① ホームメニュー を押す

② 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

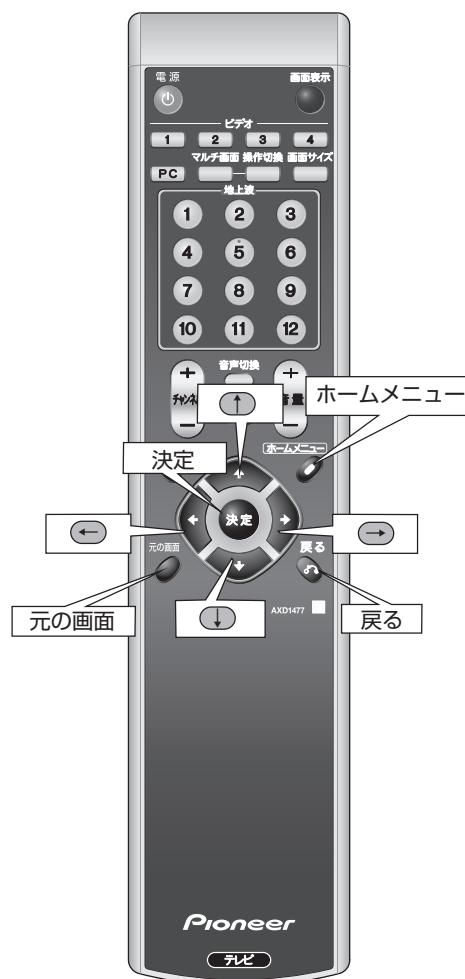
③ 「プロ設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

④ 「カラーマネージメント」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

⑤ 調整したい項目を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

- お好みの調整は、現在選ばれている「AVセレクション」に対して行います。
- 他の項目を調整するときは、戻る を押して手順 ⑤、⑥ をくり返します。

項目	← を押すと	→ を押すと
R（赤）	マゼンタに近づく	黄に近づく
Y（黄）	赤に近づく	緑に近づく
G（緑）	黄に近づく	シアンに近づく
C（シアン）	緑に近づく	青に近づく
B（青）	シアンに近づく	マゼンタに近づく
M（マゼンタ）	青に近づく	赤に近づく

⑦ 設定を終了するには、元の画面 を押す

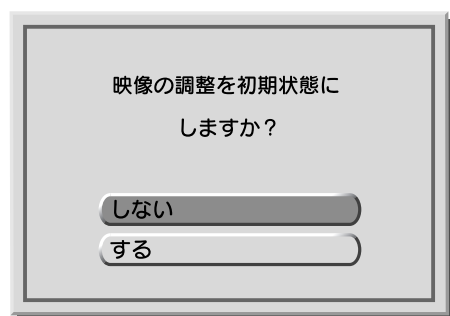
おしらせ　・手順 ⑥ で ↑ や ↓ を押すと、調整項目を直接切り換えることができます。

映像の調整を元に戻す

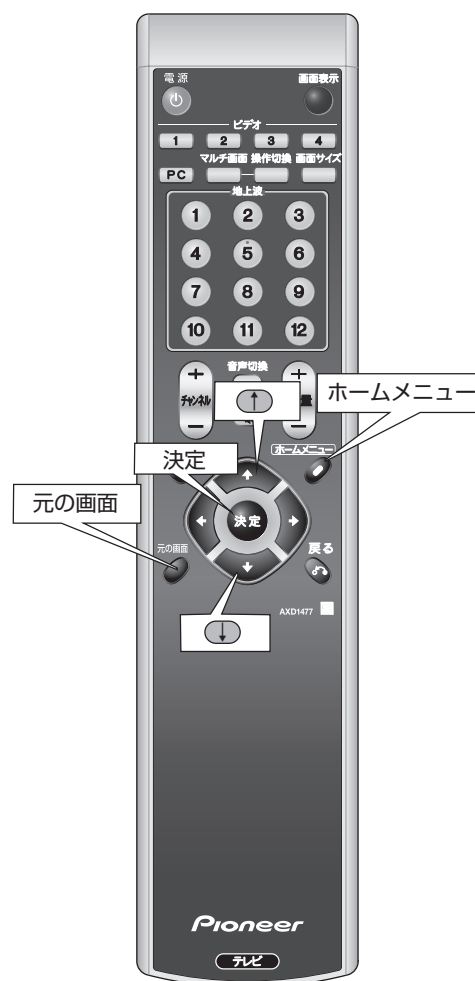
調整した映像を工場出荷時の初期状態に戻します。

1 ホームメニュー を押す

2 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 「初期状態に戻す」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

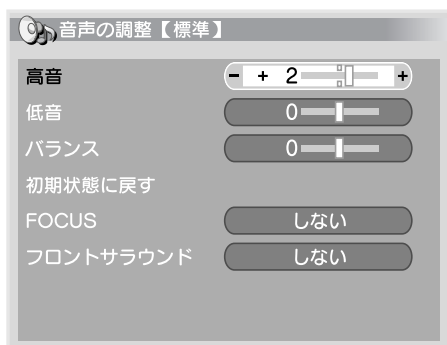
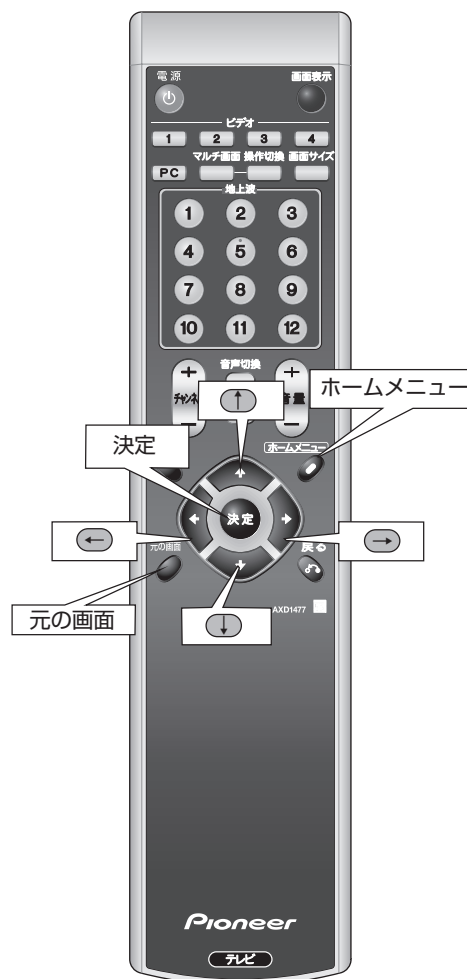
4 ↑ ↓ で「する」を選んで 決定 を押す

「初期状態に戻す」は、現在選ばれている「AVセレクション」に関するすべての映像調整と設定項目を工場出荷時の初期状態に戻します。

5 設定を終了するには、元の画面 を押す

音声を調整する

お好みの音質にする

お好みの音質に調整することができます。

1. ホームメニュー を押す
2. 「音声の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 調整したい項目を ↑ ↓ で選んで ← → で好みの音声に調整する

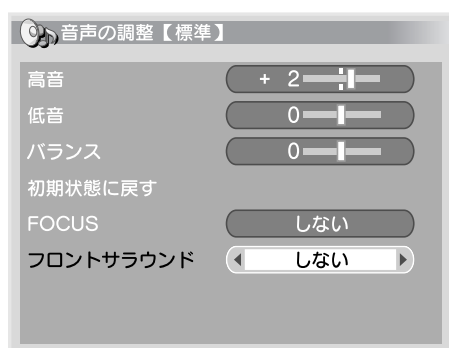
- お好みの調整は、現在選ばれている「AVセレクション」（例えば「映画」など）に対して行います。
- あらかじめお好みの調整をしたい「AVセレクション」に切り換えてください。（➡56 ページ）

「高音」............................–7～0～+7
「低音」............................–7～0～+7
「バランス」....................左30～0～右30

4. 調整を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

- ヘッドホンの音質調整はできません。
- ヘッドホンを挿入したまま音質を調整すると、ヘッドホンを抜いたときのスピーカーからの音質が調整されます。
- 音声の調整を元に戻すときは、手順 3 で「初期状態に戻す」を選んで 決定 を押し、↑ ↓ で「する」を選んで 決定 を押します。

お好みの音場にする

FOCUS やフロントサラウンド効果を使うと、より自然で立体的な音声を再生できます。

1. ホームメニュー を押す
2. 「音声の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「FOCUS」または「フロントサラウンド」を選んで ← → を押し、お好みの効果を選ぶ

■ FOCUS

音が聞こえてくる方向（音像）を縦方向（上方向）に動かすとともに、音の輪郭を明確にする技術です。
「する」に設定すると、画面の中から音が聞こえてくるような効果が得られます。

工場出荷時は、「しない」に設定されています。

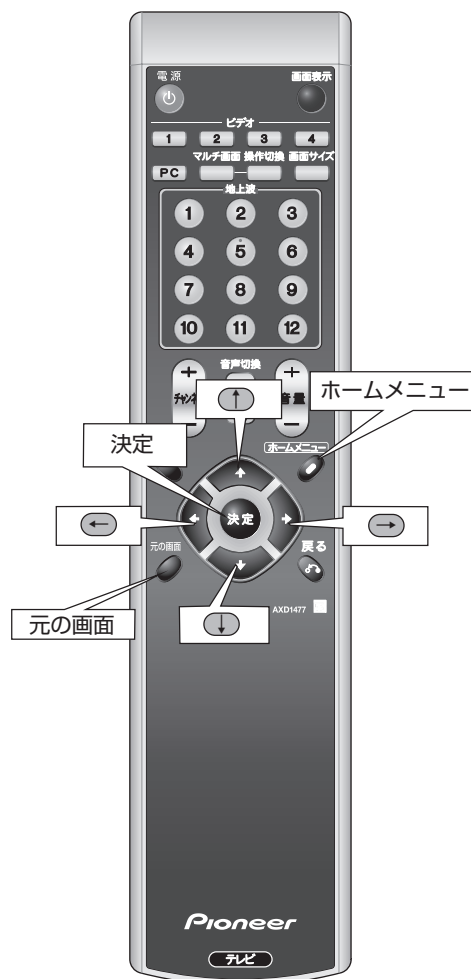
「する」	FOCUS を使用します。
「しない」	FOCUS を使用しません。

■フロントサラウンド

工場出荷時は、「TruBass」に設定されています。

「SRS」	どの位置でも自然な立体音場を楽しむことができます。
「TruBass」	無理のない豊かな低音を再生します。
「TruBass+SRS」	TruBass と SRS の両方を使ったサラウンド効果が得られます。
「しない」	フロントサラウンドを使用しません。

4. 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

- 「FOCUS」を「する」、「フロントサラウンド」を「TruBass+SRS」にした状態を SRS WOW（ワウ）といいます。
- SRS WOW は、SRS Labs, Inc. の商標です。
- WOW 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- 効果の度合いは信号によって異なります。
- ヘッドホンの音場設定はできません。
- ヘッドホンを挿入したまま音場を設定すると、ヘッドホンを抜いたときのスピーカーからの音場が設定されます。

他の機器を接続して使う

その他のAV機器

パソコン（PC）

ビデオカメラをつなぐ

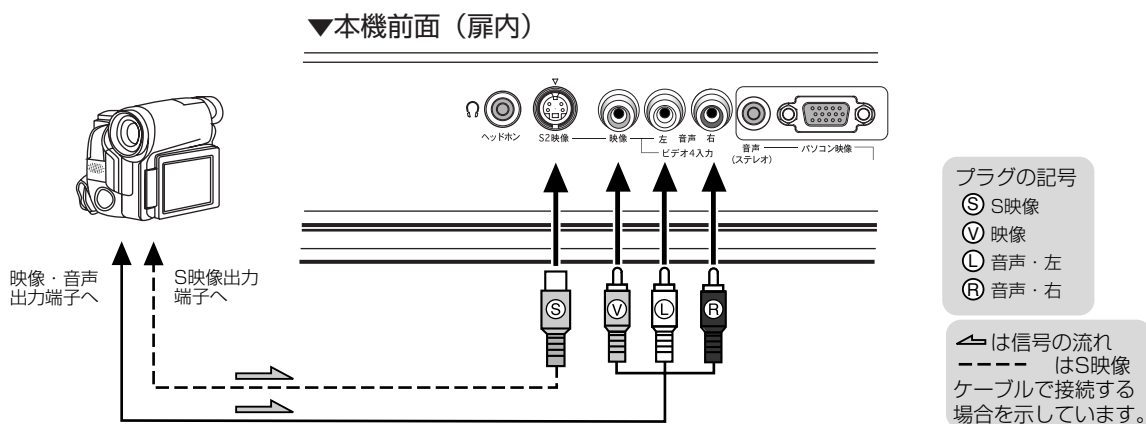
ビデオカメラなどの再生には、本機前面(扉内)にあるビデオ4入力が使用できます。
本機の前面入力端子を使用して、手軽にビデオカメラの映像を再生したり、ビデオデッキなどへ録画することができます。

●接続のしかた

ビデオカメラは本機前面扉内の
ビデオ4入力 端子に接続します。

▼本機前面（扉内）

プラグの記号
Ⓢ S映像
Ⓥ 映像
Ⓛ 音声・左
Ⓡ 音声・右

⇐ は信号の流れ
－－－－ はS映像ケーブルで接続する場合を示しています。

●使いかた

1 本機の電源を「入」にする

2 リモコンの ビデオ4 を押す

3 ビデオカメラを再生する

ビデオカメラの映像が再生されます。

ご注意

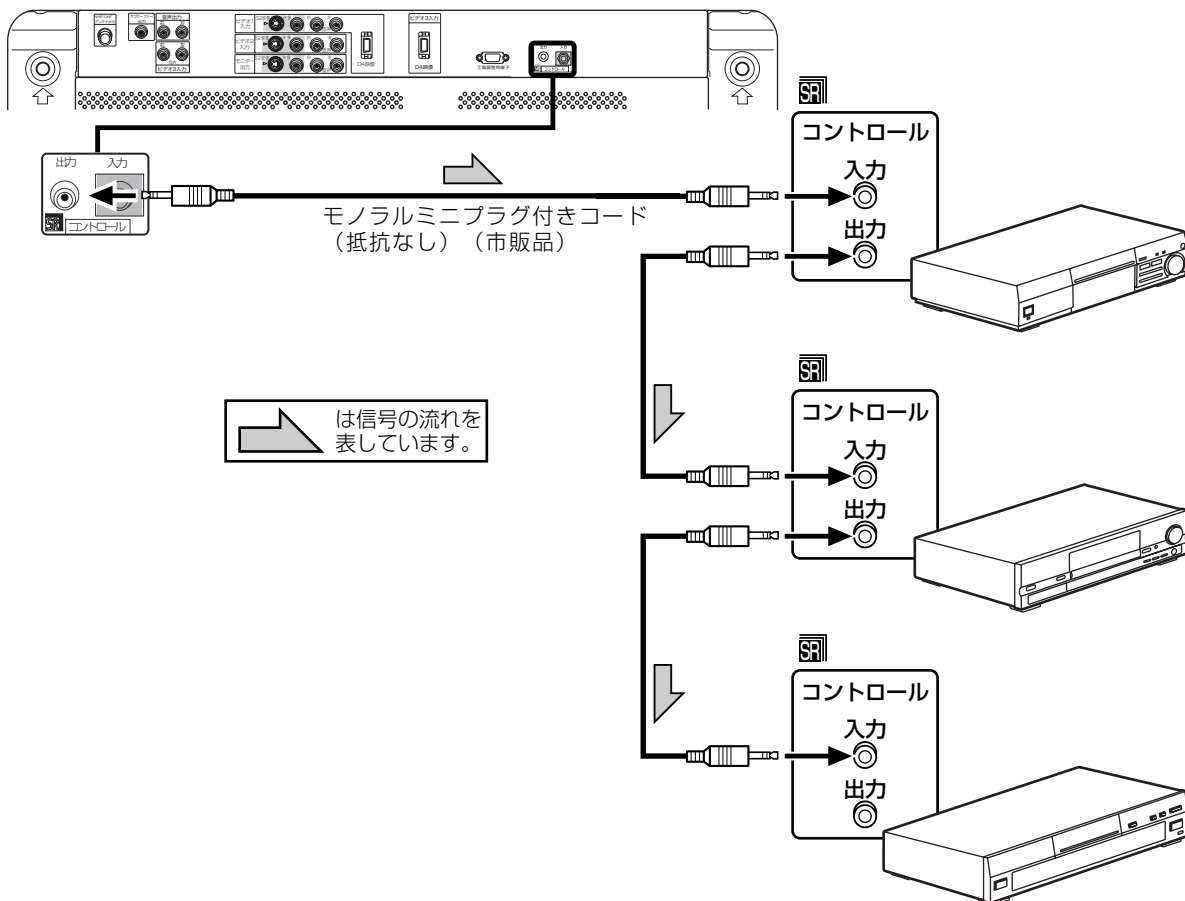
- あなたが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

おしらせ

- ビデオカメラの映像出力をS2映像端子に接続した場合は、「S映像」の表示をします。
- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

コントロール接続について

SRマークのある当社製の機器とコントロール接続すると、本機のリモコンで他の機器の操作ができるようになります。コントロール入力端子を使用した機器のリモコン受光部は、リモコン信号を受け付けなくなります。接続した他の機器のリモコンは、本機の受光部に向けて操作してください。

●接続のしかた

●SR＋について

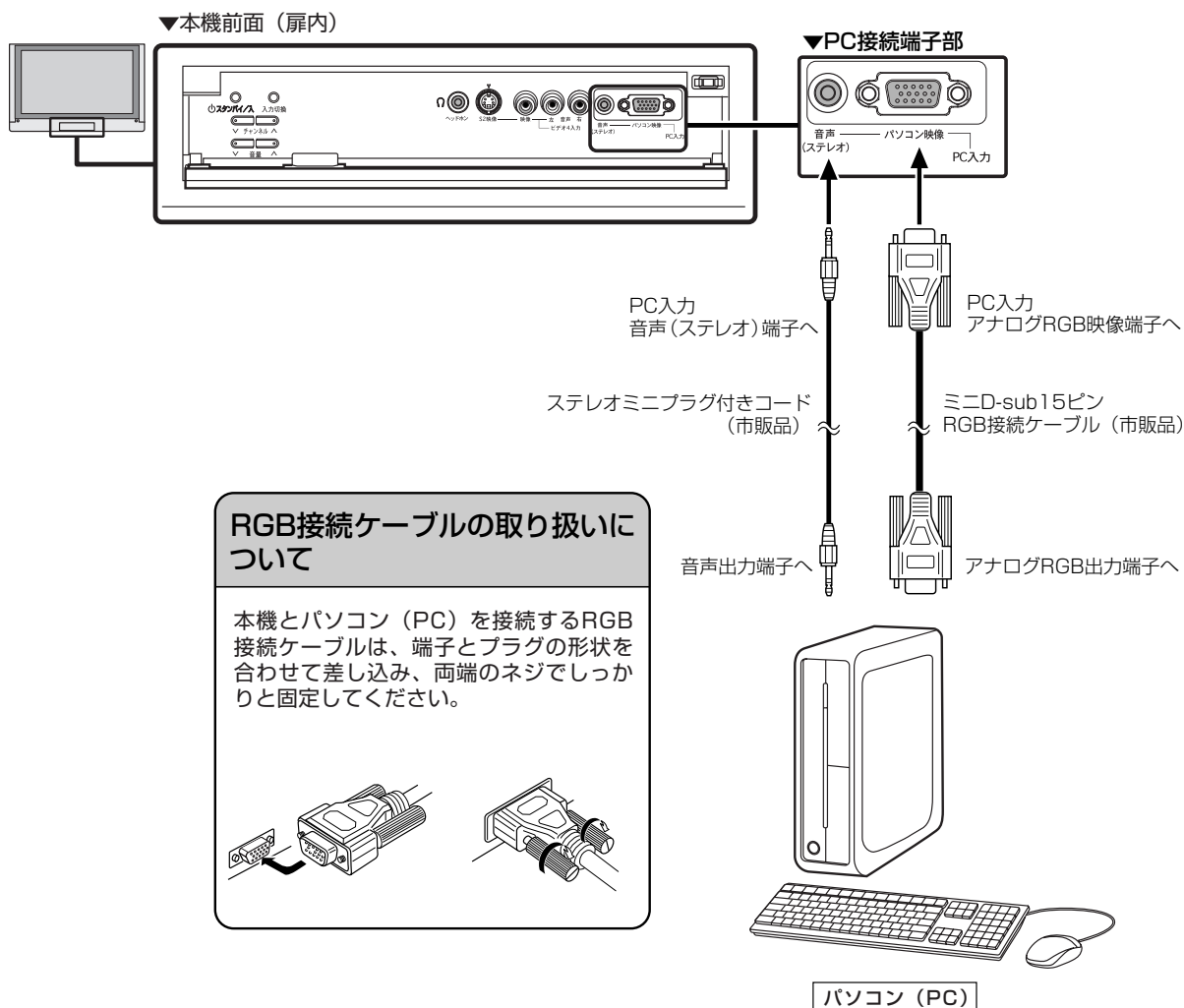
本機背面のSRコントロール出力端子は、SR＋に対応した当社製AVアンプとの連動動作を可能にするSR＋に対応しています。SR＋にはシステム連動動作機能やサラウンドモードのディスプレイ表示等があります。
詳しくは、お使いのSR＋に対応した機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

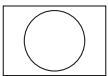
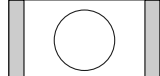
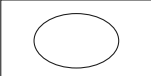
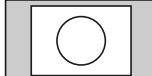
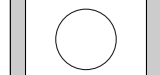
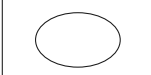
- 接続する前に、電源が切れていることを確認してください。
- コントロール接続をする前に、他の機器の接続をすべて済ませておいてください。
- SR ＋接続を開始すると、本機の音量が一時的に最小になります。

パソコン（PC）をつなぐ

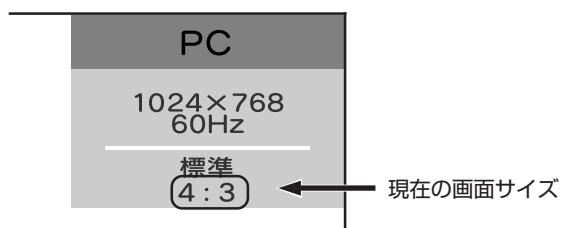
本機の前面（扉内）にパソコン（PC）用の入力端子があります。
パソコンを接続するとパソコン画面を表示することができます。

●接続のしかた

●パソコン入力対応表

パソコンを接続する前に、対応表に合わせてパソコンの解像度を設定してください。

画素数	垂直周波数	備考	画素数	垂直周波数	備考
640 × 400	85Hz		800 × 600	75Hz	
720 × 400	70Hz			85Hz	
	85Hz		832 × 624	74.5Hz	Macintosh16”
640 × 480	60Hz		1024 × 768	60Hz	
	65Hz	Macintosh13”(67Hz)		70Hz	
	72Hz			75Hz	Macintosh19”
	75Hz			85Hz	
	85Hz		1280 × 768	56Hz	
800 × 600	56Hz			60Hz	
	60Hz			70Hz	
	72Hz				

画面サイズを切り換える（パソコン用）

パソコン(PC)からの入力を、お好みのサイズに調整します。

① 画面サイズ でお好みの画面サイズを選ぶ

- 押すごとに画面サイズが切り換わります。
- 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。次の画面サイズから選ぶことができます。

入力信号	4 : 3	フル	Dot by Dot
640×400 720×400 640×480 800×600 832×624	入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。	16 : 9画面いっぱいに映します。	入力信号と画面の画素を一致させ、画面に映します。※

入力信号	4 : 3	フル1	フル2
1024×768 1280×768	<例> 1024×768入力時 入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。 （1024×768の表示に最適です。）	<例> 1024×768入力時 16 : 9画面いっぱいに映します。 （1024×768の表示に最適です。）	<例> 1024×768入力時 ワイド信号表示用のモードです。 1280×768の表示時にお使いください。

※：横長画素のため、実際の入力信号より横長に映し出されます。

おしらせ Dot by Dot（ドット・バイ・ドット）とは

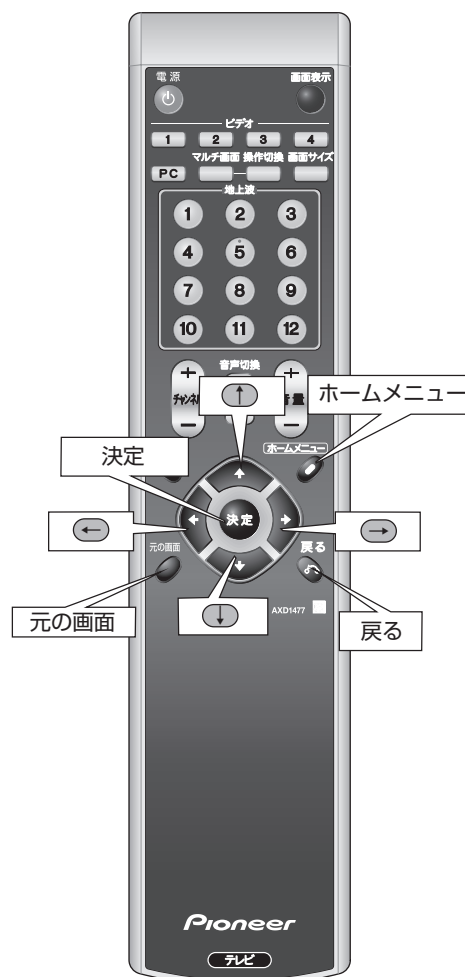
- 接続したパソコン（PC）の入力信号の解像度を判断して、これに一致したパネル画素数で表示する機能です。

お好みの画質にする（パソコン用）

お好みの画質に調整することができます。

1 ホームメニュー を押す

2 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 調整したい項目を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4 ← → でお好みの調整をする

お好みの調整は、現在選ばれているAVセレクション（例えば「AV メモリー」など）に対して行います。
あらかじめお好みの調整を行いたいAV セレクションに切り換えてください。

項目	← を押すと	→ を押すと
映像	明暗の差が弱くなる	明暗の差が強くなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
R レベル	赤が弱くなる	赤が強くなる
G レベル	緑が弱くなる	緑が強くなる
B レベル	青が弱くなる	青が強くなる

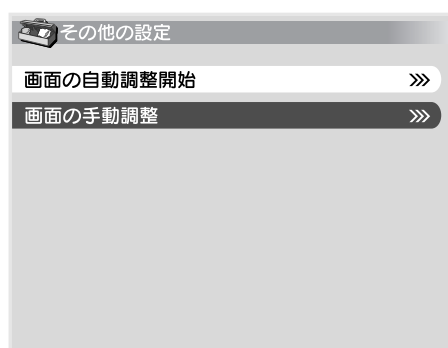
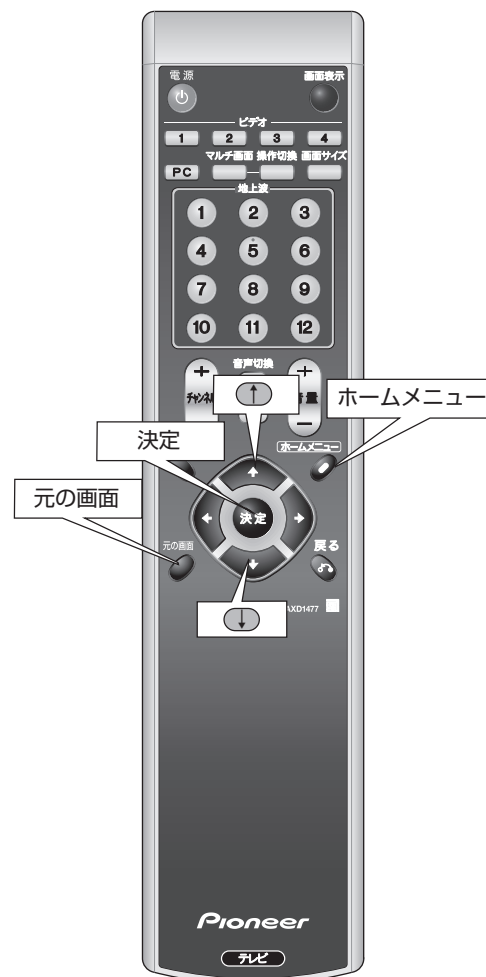
他の項目を調整するときは、戻る を押して手順 ③ ④ をくり返します。

5 調整を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ
- 手順 ④で ↑ や ↓ を押すと、調整したい項目を直接切り換えることができます。
- AV セレクションの切り換えは、56 ページをご覧ください。
- 調整を初期状態に戻すときは、65 ページをご覧ください。

最適なパソコン画面にする(画面の自動調整)

最適なパソコン画面表示にするために行います。
自動的に画面の表示位置などが自動で調整されます。

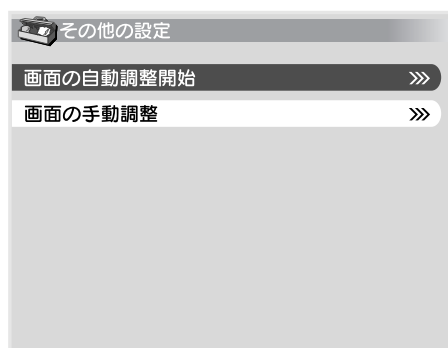
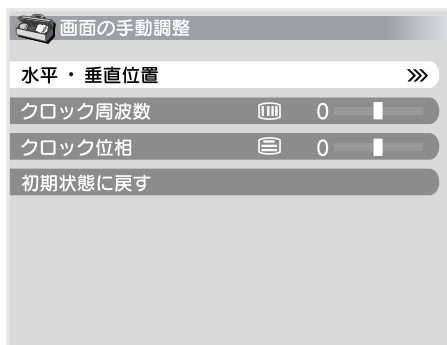
1. ホームメニュー を押す
2. 「その他の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「画面の自動調整開始」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4. 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

- 次のような映像信号では、自動調整により最適な画面表示が得られないことがあります。
  - スクリーンセーバーや動画再生時など動きのある映像
  - 画面全体が単色になっている場合など

  その場合は、画面の手動調整を行ってください（➔78 ページ）。

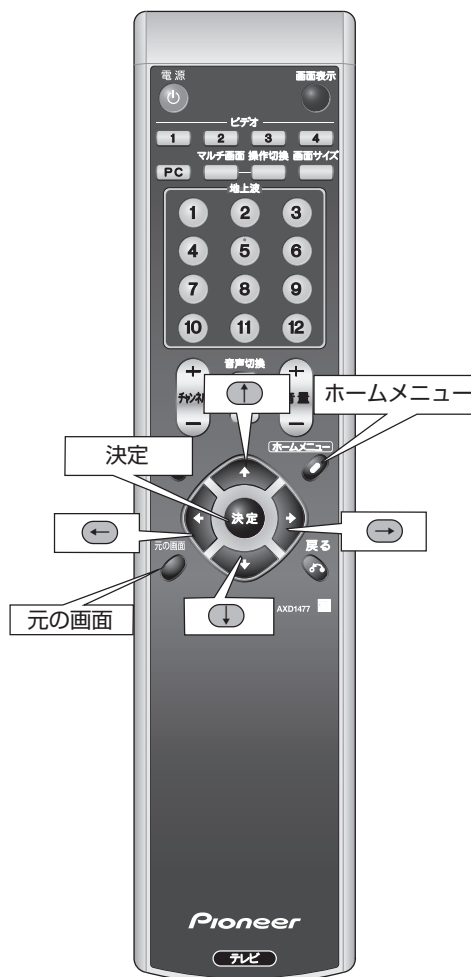
パソコン画面を調整する（画面の手動調整）

最適なパソコン画面表示にするために行います。
画面の表示位置などを手動で調整できます。

1. ホームメニュー を押す
2. 「その他の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「画面の手動調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4. 調整したい項目を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

5. ← →（または ↑ ↓）で適切な調整をする

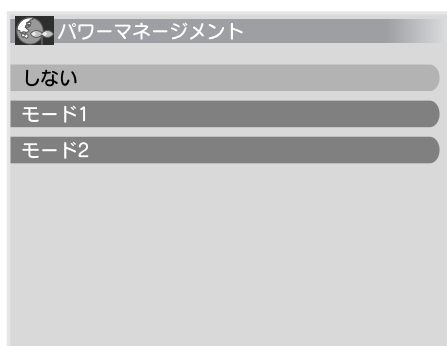
「水平・垂直位置」... 水平位置は、画像が右寄り、または左寄りのときに ← → で調整します。垂直位置は、画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎのときに ↑ ↓ で調整します。
「クロック周波数」... 映像に縦じま状のちらつきがあるときに ← → で調整します。
「クロック位相」..... 文字などを表示したときに、映像のちらつきがあるときや、コントラストがつかないときに ← → で調整します。

6. 設定を終了するには、 元の画面 を押す

おしらせ
• 調整を初期状態に戻すときは、手順④で「初期状態に戻す」を選び、次の画面で「する」を選んでください。

省エネ機能を使う（パソコン用）

パソコン入力専用の省エネ機能です。
パソコンからの映像信号の状態により、自動的に電源スタンバイ状態にしたり、動作を一時停止（サスペンドと言います）して、本機の消費電力を抑えることができます。

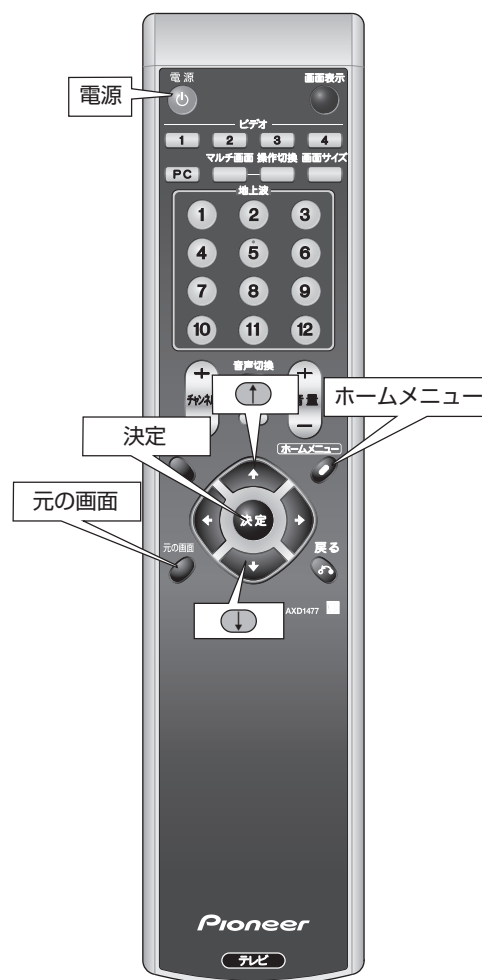
1. ホームメニュー を押す
2. 「省エネの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「パワーマネージメント」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. ↑ ↓ でお好みの設定を選んで 決定 を押す

工場出荷時は、「しない」に設定されています。

「しない」………パワーマネージメント機能を使用しません。
「モード１」……パソコンからの信号が無信号になったとき、約8分後に自動的に電源をスタンバイ状態にする機能です。
「モード２」……パソコン入力で無信号の状態が８秒間続くと、自動的に入力信号待ち（サスペンド）状態になります。パソコンが動作を開始し、再び信号が入力されると本機の電源が入ります。

5. 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

パワーマネージメント機能について

- パワーマネージメント機能が働く前に、画面左下に残り時間が表示されます。
- パワーマネージメント機能が働いているときに電源を押すと、本機の電源を入れることができます。
- 再度電源を入れた後も、引き続きパソコンからの映像信号が途切れていると、再度パワーマネージメント機能が働きますので、ご注意ください。
- 消費電力の設定は 46 ページをご覧ください。

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のアンテナやビデオデッキなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、ご購入店にお問い合わせください。

全般

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
電源が入らない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	32ページ
	・主電源は入っていますか。	42ページ
電源が切れた	・本機の保護回路が動作したと考えられます。主電源ボタンを押して電源を切り、1分以上たってから再度電源を入れ直してください。	42ページ
映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	32ページ
	・電源が「切」の状態になっていませんか。	42ページ
	・テレビ(地上波、CATV)を見たいのに、ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	44ページ
リモコンが動作しない	・電池の極性(⊕、⊖)が逆になっていませんか。	20ページ
	・リモコンの乾電池が消耗していませんか。	20ページ
	・リモコンは受光部に向けてお使いください。	19・42ページ
片方しか音が出ない	・「バランス」が正しく調整されていますか。	68ページ
映像は出るが音声が出ない	・音量調整が最小になっていませんか。	42ページ
	・「消音」状態になっていませんか。	42ページ
	・ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。	16ページ
	・ビデオ1～4入力やPC入力を使用するときは、音声端子も接続されていることを確認してください。	28・74ページ
色がうすい 色あいが悪い	・色の濃さ、色あいなどは正しく調整されていますか。	57ページ
特定の地上波テレビチャンネルだけ映らない	・地上波テレビチャンネルの「手動微調整」がズレていませんか。	39ページ
長時間(3時間以上)視聴していると、電源が切れてしまう	・ホームメニューの「省エネの設定」で「無操作オフ」が「する」に設定されていませんか。	46ページ
映像が出ない 雑音のみ出る	・アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。	26・27ページ
	・アンテナ線は正しく接続されていますか。	26・27ページ
色じま模様が出る	・近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。	

VHF/UHF（地上波）アンテナ

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
画像にはん点が出る	・自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。VHF/UHF（地上波）アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	
映像が二重になる（ゴースト）	・近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。VHF/UHF（地上波）アンテナの向きや高さを変えてみてください。	
	・ホームメニューの「個別チャンネル設定」で「ゴーストを軽減する」を行ってください。	40ページ
雪が降っているような画面になる	・VHF/UHF（地上波）アンテナ線は正しく接続されていますか。	26・27ページ
	・屋外VHF/UHF（地上波）アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ・VHF/UHF（地上波）アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。	

地上波

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
リモコンの地上波チャンネルボタン（1）～（12）で希望のチャンネルが選局できない	・地上波のリモコン番号「1」～「12」に希望の地上波チャンネルが設定されていますか。	38ページ
リモコンの（チャンネル(＋/－)）で希望の地上波チャンネルが選局できない	・リモコン番号「1」～「48」に希望の地上波チャンネルが設定されていますか。	38ページ
	・ホームメニューの「個別チャンネル設定」で希望の地上波チャンネルがスキップ：「する」に設定されていませんか。	39ページ

■本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは主電源ボタンを押して電源を切り、１分以上たってから再度電源を入れ直してください。

■ときどき“ピシッ”と音がすることがありますが故障ではありません。温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。

つぎのコードやメッセージが画面に表示されている場合は、ご購入店にご相談ください。

コード	メッセージ	ここをお確かめください
SD04	内部温度上昇のため、電源をオフします。 PDP周辺の温度を確認してください。	本機周辺の温度が高くなっていませんか？
SD05	内部保護回路動作により、電源をオフします。	

地域コード

地域コード早見表

地域コード早見表に該当する都市にお住まいの場合は、その都市の地域コードを入力してください。
該当する都市にお住まいでない場合は、最も近い都市の地域コードを入力してください。
工場出荷時は、地域コード「042」に設定されています。

五十音	都市名	地域コード	五十音	都市名	地域コード	五十音	都市名	地域コード	五十音	都市名	地域コード
あ	会津若松	030	か	鹿屋	133	つ	津	076	ひ	姫路	089
	青森	013		釜石	017		津山	099		平塚	047
	明石	090	き	北九州	120		鶴岡	026		広島	101
	秋田	022		北見	012		敦賀	063	ふ	福井	062
	阿久根	132		岐阜	064	と	東京(23区)	042		福岡	117
	旭川	003		京都	081		徳島	109		福島	028
	網走	011		桐生	036		鳥取	095		福知山	083
い	飯田	054	く	釧路	010		苫小牧	007		福山	102
	諫早	125		熊谷	038		富山	058		富士	069
	石巻	020		熊本	126		豊田	075		藤枝	072
	伊勢	077		久留米	118		豊橋	074	ま	舞鶴	082
	今治	114		呉	104	な	長崎	123		前橋	035
	いわき	029	け	気仙沼	021		中津	128		松江	096
	岩国	108	こ	高知	116		中津川	066		松本	053
う	宇都宮	033		甲府	050		長野1	051		松山	112
	宇部	107		神戸	085		長野2	052		丸亀	111
	宇和島	115		神戸灘	086		名古屋	073	み	三木	088
お	大分	127		五条	092		七尾	061		三島・沼津	070
	大阪	084	さ	さいたま	037		那覇	134		水戸	031
	大館	023		佐賀	122		名張	078		宮崎	129
	大津	079		佐世保	124		名寄	004	む	むつ	015
	大曲	024		札幌	001		奈良	091		室蘭	006
	大牟田	119	し	静岡	067	に	新潟	056	も	盛岡	016
	岡谷・諏訪	055		島田	071		新居浜	113	や	矢板	034
	岡山	098		下関	106		二戸	018		山形	025
	小樽	002		上越	057	の	延岡	130		山口	105
	小田原	049	せ	仙台	019	は	函館	008	ゆ	行橋	121
	尾道	103	た	高岡	059		秦野	048	よ	横浜1	045
	帯広	009		高松	110		八王子	043		横浜2	046
か	海南・田辺	094		高山	065		八戸	014		米沢	027
	鹿児島	131		多摩	044		浜田	097	わ	和歌山	093
	川西	087	ち	秩父	039		浜松	068		稚内	005
	笠岡	100		千葉	040	ひ	彦根	080			
	金沢	060		銚子	041		日立	032			

ご注意

- 地上デジタル放送への移行(94ページ)に伴い、お住まいの地域によっては現在放送されているアナログ放送の一部のチャンネルが他のチャンネルに変更になる場合があります。この場合、地域コードによる設定では受信できないチャンネルがありますので、個別チャンネル設定(39ページ)を行ってください。

おしらせ

- 地域コードによる設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、個別チャンネル設定（39 ページ）を行ってください。

地域コード一覧表

※地域コード別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局名は、当社の調査によるものです。（2003年9月現在）

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域コード	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
北海道	札幌	001	1 北海道放送		3 NHK 総合	17 テレビ北海道	5 札幌テレビ			27 北海道文化放送		35 北海道テレビ		12 NHK 教育
	小樽	002		2 NHK 教育		4 北海道テレビ		24 テレビ北海道	7 札幌テレビ	26 北海道文化放送	9 北海道放送		11 NHK 総合	
	旭川	003		2 NHK 教育		33 テレビ北海道			7 札幌テレビ	37 北海道文化放送	9 NHK 総合	39 北海道テレビ	11 北海道放送	
	名寄	004				4 NHK 総合		6 札幌テレビ	24 北海道テレビ	26 北海道文化放送		10 北海道放送		12 NHK 教育
	稚内	005		30 NHK 教育		24 北海道テレビ			22 札幌テレビ	26 北海道文化放送	28 NHK 総合	10 北海道放送		
	室蘭	006		2 NHK 教育				29 テレビ北海道	7 札幌テレビ	37 北海道文化放送	9 NHK 総合	39 北海道テレビ	11 北海道放送	
	苫小牧	007		49 NHK 教育				47 テレビ北海道	57 札幌テレビ	53 北海道文化放送	51 NHK 総合	61 北海道テレビ	55 北海道放送	
	函館	008				4 NHK 総合	21 テレビ北海道	6 北海道放送	35 北海道テレビ	27 北海道文化放送		10 NHK 教育		12 札幌テレビ
	帯広	009				4 NHK 総合		6 北海道放送	34 北海道テレビ	32 北海道文化放送		10 札幌テレビ		12 NHK 教育
	釧路	010		2 NHK 教育				39 北海道テレビ	7 札幌テレビ	41 北海道文化放送	9 NHK 総合		11 北海道放送	
	網走	011	1 北海道放送		3 NHK 総合		5 札幌テレビ		35 北海道テレビ	27 北海道文化放送				12 NHK 教育
	北見	012		2 NHK 教育				61 北海道テレビ	7 札幌テレビ	59 北海道文化放送	9 NHK 総合		53 北海道放送	
青森	青森	013	1 青森放送		3 NHK 総合	34 青森朝日放送	5 NHK 教育			27 北海道文化放送			35 北海道テレビ	38 青森テレビ
	八戸	014		2 岩手放送	37 テレビ岩手	31 青森朝日放送	12 札幌テレビ		7 NHK 教育	27 北海道文化放送	9 NHK 総合	29 めんこいテレビ	11 青森放送	33 青森テレビ
	むつ	015				4 NHK 総合		56 青森朝日放送				10 青森放送	58 青森テレビ	12 NHK 教育
岩手	盛岡	016	1 東北放送	33 めんこいテレビ	35 テレビ岩手	4 NHK 総合		6 岩手放送	32 東日本放送	8 NHK 教育	34 ミヤギテレビ	38 青森テレビ	31 岩手朝日テレビ	12 仙台放送
	釜石	017		2 NHK 総合	58 テレビ岩手						60 めんこいテレビ	10 岩手放送	62 岩手朝日テレビ	12 NHK 教育
	二戸	018		2 岩手放送	37 テレビ岩手		5 NHK 総合				29 めんこいテレビ		61 岩手朝日テレビ	12 NHK 教育
宮城	仙台	019	1 東北放送		3 NHK 総合		5 NHK 教育		32 東日本放送		34 ミヤギテレビ			12 仙台放送
	石巻	020	59 東北放送		51 NHK 総合		49 NHK 教育		61 東日本放送		55 ミヤギテレビ			57 仙台放送
	気仙沼	021		2 NHK 総合		4 東北放送		6 仙台放送	43 東日本放送		37 ミヤギテレビ	10 NHK 教育		
秋田	秋田	022		2 NHK 教育			31 秋田朝日放送				9 NHK 総合		11 秋田放送	37 秋田テレビ
	大館	023	1 青森放送			4 NHK 総合	59 秋田朝日放送	6 秋田放送		8 NHK 教育				57 秋田テレビ
	大曲	024		43 NHK 教育			41 秋田朝日放送				45 NHK 総合		47 秋田放送	51 秋田テレビ
山形	山形	025				4 NHK 教育		36 テレビユー山形		8 NHK 総合		10 山形放送	30 さくらんぼテレビ	38 山形テレビ
	鶴岡	026	1 山形放送		3 NHK 総合			6 NHK 教育		22 テレビユー山形			24 さくらんぼテレビ	39 山形テレビ
	米沢	027				50 NHK 教育		56 テレビユー山形		52 NHK 総合		54 山形放送	60 さくらんぼテレビ	58 山形テレビ
福島	福島	028	1 東北放送	2 NHK 教育		31 テレビユー福島		33 福島中央テレビ	32 東日本放送	34 ミヤギテレビ	9 NHK 総合	35 福島放送	11 福島テレビ	12 仙台放送
	いわき	029	1 東北放送	62 テレビユー福島		4 NHK 総合		34 福島中央テレビ	32 東日本放送	8 福島テレビ		10 NHK 教育	12 仙台放送	60 福島放送
	会津若松	030	1 NHK 総合		3 NHK 教育	47 テレビユー福島		6 福島テレビ	32 東日本放送	37 福島中央テレビ	34 ミヤギテレビ	41 福島放送		12 仙台放送
茨城	水戸	031	44 NHK 総合		46 NHK 教育	42 日本テレビ	16 放送大学	40 TBS テレビ		38 フジテレビ	39 千葉テレビ	36 テレビ朝日		32 テレビ東京
	日立	032	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ		56 TBS テレビ		58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京
栃木	宇都宮	033	29 NHK 総合		27 NHK 教育	25 日本テレビ	16 放送大学	23 TBS テレビ		21 フジテレビ	31 とちぎテレビ	19 テレビ朝日	48 群馬テレビ	17 テレビ東京
	矢板	034	51 NHK 総合		49 NHK 教育	53 日本テレビ		55 TBS テレビ		57 フジテレビ	33 とちぎテレビ	59 テレビ朝日		61 テレビ東京
群馬	前橋	035	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ	48 群馬テレビ	56 TBS テレビ	40 放送大学	58 フジテレビ	38 テレビ埼玉	60 テレビ朝日		62 テレビ東京
	桐生	036	43 NHK 総合		45 NHK 教育	39 日本テレビ	41 群馬テレビ	37 TBS テレビ	40 放送大学	35 フジテレビ		33 テレビ朝日		31 テレビ東京
埼玉	さいたま	037	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	46 千葉テレビ	10 テレビ朝日	48 群馬テレビ	12 テレビ東京
	熊谷	038	33 NHK 総合		35 NHK 教育	25 日本テレビ		23 TBS テレビ	28 テレビ埼玉	21 フジテレビ		19 テレビ朝日		17 テレビ東京
	秩父	039	51 NHK 総合		49 NHK 教育	53 日本テレビ		55 TBS テレビ	47 テレビ埼玉	57 フジテレビ		59 テレビ朝日		61 テレビ東京
千葉	千葉	040	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	42 TVK テレビ	8 フジテレビ	46 千葉テレビ	10 テレビ朝日	38 テレビ埼玉	12 テレビ東京
	銚子	041	51 NHK 総合		49 NHK 教育	53 日本テレビ		55 TBS テレビ		57 フジテレビ	39 千葉テレビ	59 テレビ朝日		61 テレビ東京
東京	東京（23区）	042	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	42 TVK テレビ	8 フジテレビ	46 千葉テレビ	10 テレビ朝日	38 テレビ埼玉	12 テレビ東京
	八王子	043	51 NHK 総合	47 MX テレビ	49 NHK 教育	53 日本テレビ		55 TBS テレビ		57 フジテレビ		59 テレビ朝日		61 テレビ東京
	多摩	044	30 NHK 総合	28 MX テレビ	32 NHK 教育	26 日本テレビ		24 TBS テレビ		22 フジテレビ		20 テレビ朝日		18 テレビ東京
神奈川	横浜１	045	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	42 TVK テレビ	8 フジテレビ		10 テレビ朝日		12 テレビ東京
	横浜２	046	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ		56 TBS テレビ	48 TVK テレビ	58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京

地域コード一覧表（つづき）

都道府県	都市名	地域コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	リモコン番号		受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
神奈川	平塚	047	33 NHK 総合		29 NHK 教育	35 日本テレビ		37 TBS テレビ	31 TVK テレビ	39 フジテレビ		41 テレビ朝日		43 テレビ東京
	秦野	048	47 NHK 総合		49 NHK 教育	51 日本テレビ		53 TBS テレビ	61 TVK テレビ	55 フジテレビ		57 テレビ朝日		59 テレビ東京
	小田原	049	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ		56 TBS テレビ	46 TVK テレビ	58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京
山梨	甲府	050	1 NHK 総合		3 NHK 教育	4 日本テレビ	5 山梨放送	37 テレビ山梨	6 TBS テレビ	8 フジテレビ		10 テレビ朝日		12 テレビ東京
長野	長野１	051		2 NHK 総合		20 長野朝日放送		30 テレビ信州			9 NHK 教育	38 長野放送	11 信越放送	
	長野２	052		44 NHK 総合		50 長野朝日放送		40 テレビ信州			46 NHK 教育	42 長野放送	48 信越放送	
	松本	053		44 NHK 総合		50 長野朝日放送		48 テレビ信州			46 NHK 教育	42 長野放送	40 信越放送	
	飯田	054	44 長野朝日放送		3 NHK 教育	4 NHK 総合		6 信越放送		42 テレビ信州		40 長野放送		
	岡谷・諏訪	055	61 長野朝日放送			4 NHK 総合		6 信越放送		8 NHK 教育	59 テレビ信州	47 長野放送		
新潟	新潟	056			21 新潟テレビ 21	29 テレビ新潟	5 新潟放送			8 NHK 総合		35 新潟総合テレビ		12 NHK 教育
	上越	057	1 NHK 教育		3 NHK 総合	27 テレビ新潟	37 新潟テレビ 21					10 新潟放送	33 新潟総合テレビ	
富山	富山	058	1 北日本放送	6 北陸放送	3 NHK 総合	37 石川テレビ		32 チューリップテレビ				10 NHK 教育		34 富山テレビ
	高岡	059	50 北日本放送		48 NHK 総合			42 チューリップテレビ				46 NHK 教育		44 富山テレビ
石川	金沢	060	1 北日本放送	25 北陸朝日放送	34 富山テレビ	4 NHK 総合		6 北陸放送		8 NHK 教育		33 テレビ金沢		37 石川テレビ
	七尾	061		59 北陸朝日放送			5 NHK 教育				9 NHK 総合	57 テレビ金沢	11 北陸放送	55 石川テレビ
福井	福井	062			3 NHK 教育			6 北陸放送			9 NHK 総合		11 福井放送	39 福井テレビ
	敦賀	063						6 NHK 総合		8 福井放送		38 福井テレビ		12 NHK 教育
岐阜	岐阜	064	1 東海テレビ		39 NHK 総合		5 CBC テレビ	25 テレビ愛知	37 岐阜放送	33 三重テレビ	9 NHK 教育		11 名古屋テレビ	35 中京テレビ
	高山	065		2 NHK 教育		4 NHK 総合		6 CBC テレビ	38 岐阜放送	8 東海テレビ			26 中京テレビ	12 名古屋テレビ
	中津川	066				4 NHK 総合		6 名古屋テレビ	28 岐阜放送	8 CBC テレビ		10 東海テレビ	26 中京テレビ	12 NHK 教育
静岡	静岡	067	1 東海テレビ	2 NHK 教育		31 静岡第一テレビ	5 CBC テレビ	33 静岡朝日テレビ	25 テレビ愛知		9 NHK 総合		11 静岡放送	35 テレビ静岡
	浜松	068	1 東海テレビ	30 静岡第一テレビ		4 NHK 総合	5 CBC テレビ	6 静岡放送	25 テレビ愛知	8 NHK 教育		28 静岡朝日テレビ		34 テレビ静岡
	富士	069		54 NHK 教育		27 静岡第一テレビ		29 静岡朝日テレビ			52 NHK 総合		41 静岡放送	39 テレビ静岡
	三島・沼津	070		51 NHK 教育		61 静岡第一テレビ		57 静岡朝日テレビ			53 NHK 総合		55 静岡放送	59 テレビ静岡
	島田	071	1 NHK 総合		3 NHK 教育	48 静岡第一テレビ	5 静岡放送	50 静岡朝日テレビ						58 テレビ静岡
	藤枝	072	42 NHK 総合		44 NHK 教育	24 静岡第一テレビ	40 静岡放送	26 静岡朝日テレビ						38 テレビ静岡
愛知	名古屋	073	1 東海テレビ		3 NHK 総合		5 CBC テレビ	37 岐阜放送	35 中京テレビ	33 三重テレビ	9 NHK 教育		11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
	豊橋	074	56 東海テレビ		54 NHK 総合		62 CBC テレビ		58 中京テレビ		50 NHK 教育		60 名古屋テレビ	52 テレビ愛知
	豊田	075	57 東海テレビ		53 NHK 総合		55 CBC テレビ		59 中京テレビ		51 NHK 教育		61 名古屋テレビ	49 テレビ愛知
三重	津	076	1 東海テレビ	25 テレビ愛知	31 NHK 総合	4 毎日テレビ	5 CBC テレビ	6 ABC テレビ	33 三重テレビ	8 関西テレビ	9 NHK 教育	10 読売テレビ	11 名古屋テレビ	35 中京テレビ
	伊勢	077	57 東海テレビ		53 NHK 総合		55 CBC テレビ		59 三重テレビ		49 NHK 教育		61 名古屋テレビ	47 中京テレビ
	名張	078	62 東海テレビ		52 NHK 総合		60 CBC テレビ		58 三重テレビ		50 NHK 教育		56 名古屋テレビ	54 中京テレビ
滋賀	大津	079		28 NHK 総合		36 毎日テレビ		38 ABC テレビ	34 KBS 京都	40 関西テレビ	30 びわ湖放送	42 読売テレビ		46 NHK 教育
	彦根	080		52 NHK 総合		54 毎日テレビ		58 ABC テレビ		60 関西テレビ	56 びわ湖放送	62 読売テレビ		50 NHK 教育
京都	京都	081		2 NHK 総合	19 テレビ大阪	4 毎日テレビ		6 ABC テレビ	34 KBS 京都	8 関西テレビ	36 サンテレビ	10 読売テレビ		12 NHK 教育
	舞鶴	082		51 NHK 総合		53 毎日テレビ		55 ABC テレビ	57 KBS 京都	59 関西テレビ		61 読売テレビ		49 NHK 教育
	福知山	083		50 NHK 総合		54 毎日テレビ		58 ABC テレビ	56 KBS 京都	60 関西テレビ		62 読売テレビ		52 NHK 教育
大阪	大阪	084		2 NHK 総合	19 テレビ大阪	4 毎日テレビ		6 ABC テレビ	34 KBS 京都	8 関西テレビ	36 サンテレビ	10 読売テレビ		12 NHK 教育
兵庫	神戸	085		28 NHK 総合	19 テレビ大阪	18 毎日テレビ		20 ABC テレビ		22 関西テレビ	36 サンテレビ	24 読売テレビ		26 NHK 教育
	神戸灘	086		52 NHK 総合	19 テレビ大阪	54 毎日テレビ		56 ABC テレビ		58 関西テレビ	62 サンテレビ	60 読売テレビ		50 NHK 教育
	川西	087		29 NHK 総合		35 毎日テレビ		37 ABC テレビ		39 関西テレビ	33 サンテレビ	41 読売テレビ		31 NHK 教育

都道府県	都市名	地域コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	リモコン番号		受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
兵庫	三木	088		44 NHK総合		34 毎日テレビ		38 ABCテレビ		40 関西テレビ	36 サンテレビ	42 読売テレビ		46 NHK教育
	姫路	089		50 NHK総合		54 毎日テレビ		58 ABCテレビ		60 関西テレビ	56 サンテレビ	62 読売テレビ		52 NHK教育
	明石	090		51 NHK総合	19 テレビ大阪	53 毎日テレビ		57 ABCテレビ		59 関西テレビ	55 サンテレビ	61 読売テレビ		49 NHK教育
奈良	奈良	091		51 NHK総合	19 テレビ大阪	4 毎日テレビ		6 ABCテレビ	34 KBS京都	8 関西テレビ	36 サンテレビ	10 読売テレビ	55 奈良テレビ	12 NHK教育
	五条	092		43 NHK総合		33 毎日テレビ		35 ABCテレビ		37 関西テレビ		39 読売テレビ	41 奈良テレビ	45 NHK教育
和歌山	和歌山	093		32 NHK総合		42 毎日テレビ	30 テレビ和歌山	44 ABCテレビ		46 関西テレビ		48 読売テレビ	55 奈良テレビ	26 NHK教育
	海南・田辺	094		50 NHK総合		54 毎日テレビ	56 テレビ和歌山	58 ABCテレビ		60 関西テレビ		62 読売テレビ		52 NHK教育
鳥取	鳥取	095	1 日本海テレビ		3 NHK総合	4 NHK教育						22 山陰放送		24 山陰中央テレビ
島根	松江	096	30 日本海テレビ					6 NHK総合		34 山陰中央テレビ		10 山陰放送		12 NHK教育
	浜田	097		2 NHK総合	54 日本海テレビ		5 山陰放送			58 山陰中央テレビ	9 NHK教育			
岡山	岡山	098	35 岡山放送	23 テレビせとうち	3 NHK教育		5 NHK総合		25 瀬戸内海放送		9 西日本放送		11 山陽放送	
	津山	099	60 岡山放送	2 NHK総合	56 テレビせとうち					62 瀬戸内海放送	58 西日本放送		7 山陽放送	12 NHK教育
	笠岡	100	60 岡山放送	2 NHK総合	19 テレビせとうち	4 NHK教育		6 山陽放送	21 瀬戸内海放送		17 西日本放送			
広島	広島	101	31 テレビ新広島		3 NHK総合	4 中国放送			7 NHK教育		35 広島ホームテレビ			12 広島テレビ
	福山	102	54 テレビ新広島		3 NHK教育		5 NHK総合		7 中国放送		57 広島ホームテレビ		11 広島テレビ	
	尾道	103	1 NHK総合	26 テレビ新広島					7 NHK教育		24 広島ホームテレビ	10 中国放送		12 広島テレビ
	呉	104	1 NHK教育	26 テレビ新広島			5 広島テレビ				9 中国放送	24 広島ホームテレビ	11 NHK総合	
山口	山口	105	1 NHK教育	28 山口朝日放送	35 広島ホームテレビ	4 RKB毎日放送	19 TVQ九州放送		38 テレビ山口	31 テレビ新広島	9 NHK総合	10 テレビ西日本	11 山口放送	37 福岡放送
	下関	106	41 NHK教育	21 山口朝日放送		4 山口放送	23 TVQ九州放送		33 テレビ山口		39 NHK総合	10 テレビ西日本		
	宇部	107	14 NHK教育	31 山口朝日放送					20 テレビ山口		16 NHK総合	10 テレビ西日本	18 山口放送	
	岩国	108	1 NHK教育	28 山口朝日放送					22 テレビ山口		9 NHK総合		11 山口放送	
徳島	徳島	109	1 四国放送	19 テレビ大阪	3 NHK総合	4 毎日テレビ	30 テレビ和歌山	6 ABCテレビ	36 サンテレビ	8 関西テレビ	9 西日本放送	10 読売テレビ	11 山陽放送	38 NHK教育
香川	高松	110	19 テレビせとうち		39 NHK教育	4 毎日テレビ	37 NHK総合	6 ABCテレビ	33 瀬戸内海放送	8 関西テレビ	41 西日本放送	10 読売テレビ	29 山陽放送	31 岡山放送
	丸亀	111	16 テレビせとうち		40 NHK教育		44 NHK総合		42 瀬戸内海放送		20 西日本放送		18 山陽放送	22 岡山放送
愛媛	松山	112	23 テレビせとうち	2 NHK教育	12 広島テレビ	35 広島ホームテレビ	31 テレビ新広島	6 NHK総合	25 愛媛朝日テレビ	29 あいテレビ	9 西日本放送	10 南海放送	11 山陽放送	37 愛媛放送
	新居浜	113	23 テレビせとうち	2 NHK総合	12 広島テレビ	4 NHK教育	31 テレビ新広島	6 南海放送	14 愛媛朝日テレビ	27 あいテレビ	9 西日本放送	35 広島ホームテレビ	11 山陽放送	36 愛媛放送
	今治	114		32 NHK総合		30 NHK教育		34 南海放送	17 愛媛朝日テレビ	27 あいテレビ				36 愛媛放送
	宇和島	115	1 NHK教育					6 NHK総合	16 愛媛朝日テレビ	34 あいテレビ		10 南海放送		32 愛媛放送
高知	高知	116				4 NHK総合		6 NHK教育		8 高知放送		38 テレビ高知	40 高知さんさんテレビ	
福岡	福岡	117	1 九州朝日放送	36 サガテレビ	3 NHK総合	4 RKB毎日放送	19 TVQ九州放送	6 NHK教育			9 テレビ西日本		11 熊本放送	37 福岡放送
	久留米	118	57 九州朝日放送		46 NHK総合	48 RKB毎日放送	14 TVQ九州放送	54 NHK教育			60 テレビ西日本			52 福岡放送
	大牟田	119	58 九州朝日放送		53 NHK総合	61 RKB毎日放送	19 TVQ九州放送	50 NHK教育			55 テレビ西日本			43 福岡放送
	北九州	120		2 九州朝日放送	35 福岡放送	36 サガテレビ	23 TVQ九州放送	6 NHK総合		8 RKB毎日放送		10 テレビ西日本	11 熊本放送	12 NHK教育
	行橋	121		57 九州朝日放送	43 福岡放送		19 TVQ九州放送	49 NHK総合		60 RKB毎日放送		54 テレビ西日本		46 NHK教育
佐賀	佐賀	122	57 九州朝日放送	40 NHK教育	52 福岡放送	36 サガテレビ	14 TVQ九州放送	34 テレビ熊本	5 長崎放送	48 RKB毎日放送	38 NHK総合	60 テレビ西日本	11 熊本放送	
長崎	長崎	123	1 NHK教育	57 九州朝日放送	3 NHK総合	4 RKB毎日放送	5 長崎放送	34 テレビ熊本	25 長崎国際テレビ	9 テレビ西日本	27 長崎文化放送	11 熊本放送	37 テレビ長崎	22 熊本県民テレビ
	佐世保	124		2 NHK教育					17 長崎国際テレビ	8 NHK総合	31 長崎文化放送	10 長崎放送	35 テレビ長崎	
	諫早	125	45 NHK教育		47 NHK総合		49 長崎放送		20 長崎国際テレビ		24 長崎文化放送		42 テレビ長崎	
熊本	熊本	126	1 九州朝日放送	2 NHK教育	16 熊本朝日放送	22 熊本県民テレビ	5 長崎放送	34 テレビ熊本	37 テレビ長崎	36 サガテレビ	9 NHK総合	19 TVQ九州放送	11 熊本放送	4 RKB毎日放送
大分	大分	127	24 大分朝日放送	38 テレビ山口	3 NHK総合	4 RKB毎日放送	5 大分放送	10 南海放送	36 テレビ大分	37 福岡放送	9 テレビ西日本	19 TVQ九州放送	11 山口放送	12 NHK教育
	中津	128	17 大分朝日放送		48 NHK総合		51 大分放送		37 テレビ大分					45 NHK教育
宮崎	宮崎	129	1 南日本放送		35 テレビ宮崎				32 鹿児島放送	8 NHK総合	38 鹿児島テレビ	10 宮崎放送		12 NHK教育
	延岡	130	1 南日本放送	2 NHK教育		4 NHK総合		6 宮崎放送	32 鹿児島放送	39 テレビ宮崎	38 鹿児島テレビ			
鹿児島	鹿児島	131	1 南日本放送	34 テレビ熊本	3 NHK総合	35 テレビ宮崎	5 NHK教育	10 宮崎放送	32 鹿児島放送	22 熊本県民テレビ	38 鹿児島テレビ	16 熊本朝日放送	11 熊本放送	30 鹿児島読売テレビ
	阿久根	132		34 テレビ熊本		23 鹿児島放送	17 鹿児島読売テレビ	35 鹿児島テレビ	22 熊本県民テレビ	8 NHK総合	16 熊本朝日放送	10 南日本放送	11 熊本放送	12 NHK教育
	鹿屋	133		2 NHK教育		4 NHK総合		6 南日本放送	31 鹿児島放送		33 鹿児島テレビ			25 鹿児島読売テレビ
沖縄	那覇	134		2 NHK総合						8 沖縄テレビ		10 琉球放送	28 琉球朝日放送	12 NHK教育

おもな仕様

項目			仕様
型番			PDP-434TX
型名			高精細プラズマテレビ
受信チャンネル		地上波アナログ	VHF1 ～ 12 チャンネル／ UHF13 ～ 62 チャンネル／ CATV C13 ～ C63 チャンネル
ディスプレイパネル（画面寸法）			43V 型 AC 方式プラズマパネル（幅 95.2cm、高さ 53.6cm、対角 109.3cm）
画素数			1024 × 768
音声出力			13W ＋ 13W （1kHz、10%、8 Ω）
スピーカー			低音用（ウーファー）：長円コーン形 高音用（トゥイーター）：2.5cm ドーム形
定格電圧			AC100V
定格周波数			50/60Hz
消費電力			298W
		スタンバイ（リモコン待機）時	0.5W
年間消費電力量			290kWh ／年
入出力端子	VHF/UHF アンテナ（地上波アナログ）	入力	1 系統、75 Ω F 型コネクター
	ビデオ入力	映像	1.0Vp-p、75 Ω、同期負
		S2 映像	輝度（Y）信号：1.0Vp-p、75 Ω、同期負 色（C）信号：0.286Vp-p（バースト信号）、75 Ω
		D4 映像	輝度（Y）信号：1.0Vp-p、75 Ω、同期負 色差（CB/PB、CR/PR）信号：0.7Vp-p（カラー 100%）、75 Ω
		音声	0.5Vrms、22k Ω以上
	モニター出力	映像	1.0Vp-p、75 Ω、同期負
		S2 映像	輝度（Y）信号：1.0Vp-p、75 Ω、同期負 色（C）信号：0.286Vp-p（バースト信号）、75 Ω
		音声	0.5Vrms、1k Ω
	音声出力		0.5Vrms、1k Ω
	サブウーファー出力		0.5Vrms（100Hz、音量最大時）、1k Ω
	ヘッドホン出力	（16 ～ 32 Ω推奨）	0.5Vrms（音量最大時）、32 Ω
	コントロール端子	入力	1 系統
		出力	1 系統
	パソコン（PC）入力	RGB 映像（DDC1/2B 対応）	RGB 信号：0.7Vp-p、75 Ω、同期なし 同期信号（HD/VD）：TTL レベル（1 ～ 5Vp-p、）、2.2k Ω、正負極性
		音声（ステレオミニ）	0.5Vrms、22k Ω以上
外形寸法			幅 1168mm、奥行 131mm、高さ 753mm
質量			33.0kg

■ 年間消費電力量とは省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（約 4.5 時間／日）を基準に算出した 1 年間に使用する電力量です。

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

本機で使用している特許など

- 本機では画面表示に NEC のフォント「Font Avenue」を使用しています。
  ※ Font Avenue は NEC の登録商標です。

- SRS WOW は、SRS Labs, Inc. の商標です。
  WOW 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

本取扱説明書に記載されている企業名や製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
また、各社の商標および登録商標について、特に注記のない場合でも、これを尊重いたします。

用語の解説

■ 16：9

BSデジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i

走査線525本、インターレース方式。地上波アナログ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p

走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p

走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 1125i

走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ CATV（ケーブルテレビ）

ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D端子

BSデジタル放送の高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（C_B/P_B、C_R/P_R）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを、1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD4に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ MPEG（Moving Picture Experts Group）

デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、およそ40分の1に圧縮することができます。

■ NTSC（National Television System Committee）

日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム（フィールド周波数60Hz）、走査線数525本のインターレース方式です。

■ S1/S2映像

セパレート（S）映像信号に、画面比率4：3で上下に黒帯のあるワイド映像（レターボックス）や、16：9の映像素材を横方向に圧縮して4：3にした映像（スクイーズ）を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「ズーム」に、スクイーズは「フル」になります。

■ インターレース（飛び越し走査）

NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます（この1画面を1フィールドといいます）。つぎに偶数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像（フレーム）をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース（interlace）を表します。

■ プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項を参照）をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ（progressive）を表します。

■ コンポジット接続

通常の映像端子（ビデオ端子）を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたケーブルを使うのが一般的です。

索引

メニュー項目一覧［テレビ・ビデオ］

項目				参照
映像の調整	AVセレクション			→56ページ
	映像			→57ページ
	明るさ			→57ページ
	色の濃さ			→57ページ
	色あい			→57ページ
	画質			→57ページ
	プロ設定	ピュアシネマ		→58ページ
		色温度		→59ページ
		MPEG NR		→60ページ
		DNR		→61ページ
		CTI		→62ページ
		DRE		→63ページ
		カラーマネージメント		→64ページ
	初期状態に戻す			→65ページ
音声の調整	高音			→68ページ
	低音			→68ページ
	バランス			→68ページ
	初期状態に戻す			→68ページ
	FOCUS			→69ページ
	フロントサラウンド			→69ページ
省エネの設定	消費電力			→46ページ
	無信号オフ			→46ページ
	無操作オフ			→46ページ
おやすみタイマー				→45ページ
その他の設定	画面位置の調整	水平・垂直位置		→50ページ
		初期状態に戻す		→50ページ
	Ｓ２対応			→49ページ
	サイドマスクの設定			→51ページ
初期設定	かんたん設置			→35ページ
	地上波チャンネルの設定	一括チャンネル設定	地域名	→36ページ
			コード	→36ページ
		オートチャンネル設定		→37ページ
		チャンネル設定結果		→38ページ
		個別チャンネル設定	リモコン	→39ページ
			受信ＣＨ	→39ページ
			表示ＣＨ	→39ページ
			スキップ	→39ページ
			ＧＲ	→39ページ
			ＡＦＴ	→39ページ
			手動微調整	→39ページ

メニュー項目一覧［パソコン（PC)］

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の地域でも、2006 年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、ＢＳアナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

本機でデジタル放送をご覧になるには

別売りのデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧頂けます。
なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。
また、地上デジタル、BS デジタル、１１０度 CS デジタル共用タイプのチューナーであれば、１台でそれぞれの放送をご覧頂けます。
詳しくはデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保存してください。

保証期間は購入日から１年間です。ただし、プラズマテレビのガラスパネル部分のみは２年間です。

ご注意

- 画素欠陥については故障・不良ではありませんので、保証の対象外とさせていただきます。
- お客様のご使用過程で発生した画面の焼き付きも、保証の対象外です。
- 「使用上のご注意」（➡10ページ）をよくお読みの上、正しくご使用になることをおすすめいたします。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、修理受付センター（裏表紙）にご相談ください。

修理を依頼されるとき

82～83ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

・ご住所
「付近の目印も合わせてお知らせください」
・お名前
・お電話番号
・製品名　高精細プラズマテレビ
・型番　　PDP-434TX
・お買い求め日
・故障または異常の内容
「できるだけ具体的に」
「画面に表示されたコードやメッセージ」
・訪問ご希望日
・ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。テレビの音量は貴方の心がけ次第で大きくも小さくもなります。とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などにはとくに気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

愛情点検

長年ご使用のプラズマテレビの点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電源が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。

故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、「保証とアフターサービス」（上記）をお読みのうえ、修理受付センター（裏表紙）に点検をご依頼ください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **パイオニア・カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜　9：30～17：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口 ： フリーフォン **0070-800-8181-22**

カタログのご請求窓口 ： フリーフォン **0070-800-8181-33**

ファックス ： **03-3490-5718**

＜ご注意＞
フリーフォンは、ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/*

カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

● **パイオニア部品受注センター**

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話（フリーダイヤル） ： **0120-5-81095**

一般電話 ： **0538-43-1161**

ファックス（フリーダイヤル）： **0120-5-81096**

＜ご注意＞
フリーダイヤルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。
ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

● **パイオニア修理受付センター**（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜　9：30～20：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～18：00　（弊社休日は除く）
　　　日曜・祝日　9：30～12：00、 13：00～18：00（プラズマテレビのみ受付）

電話（フリーダイヤル） ： **0120-5-81028**（ゴーパイオニア）

一般電話 ： **03-5496-2023**

ファックス（フリーダイヤル）： **0120-5-81029**

＜ご注意＞
フリーダイヤルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00　（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話 ： **098-879-1910**

ファックス ： **098-879-1352**

お客様メモ

● 覚えのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くのご相談窓口	
ご購入年月日	年　月　日		

高調波ガイドライン適合品

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒１丁目４番１号

<03F03001> <ARA1330-A>